

# 〇〇県 2次医療圏の概要

## 1. 圏域図

※所属する2次医療圏が分かるよう、がん診療連携拠点病院名を記載すること。

## 2. 概要

(平成22年 9月 1日現在)

2次医療圏名	面積(km <sup>2</sup> )	人口	人口割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院		
						既指定病院数	今回推薦病院数	計
計								

注1) 「人口割合」欄は、県全体の人口に対する圏域ごとの割合を記入すること。  
注2) 「人口密度」欄は、各医療圏ごとに、人口/面積(km<sup>2</sup>) (小数点以下第2位四捨五入)により算出した数値を記入すること。  
注3) 「病院数」欄は、拠点病院以外の病院(診療所は除く。)も含めた数を記入すること。  
注4) 「今回推薦病院数」欄は、地域がん診療連携拠点病院を都道府県がん診療連携拠点病院へ、又は都道府県がん診療連携拠点を地域がん診療連携拠点病院へ指定変更する場合には( )書きで、指定更新の場合には< >書きで、内数を示すこと。

< 推薦書: 提出資料一覧 >

病院名 **独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院**

		頁	
<b>【がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書(様式3、4)】</b>			
様式3	(指定) 連絡先	3	
様式4	(指定) 病院概要	4	
様式4	(指定) がん診療連携拠点病院の指定要件等について	12	
<b>【添付資料】</b>			
資料番号	様式	内 容	頁
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	20
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況 (がんに関するもの)	23
別紙3	(指定)	診療機能(専門分野等)	24
別紙4	(指定)	院内クリティカルパス(がんに関するもの)	36
別紙5	(指定)	キャンサーボード	40
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	42
別紙7	(指定)	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	43
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	45
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	46
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	47
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	48
別紙12	(指定)	外来患者に対する緩和ケアの提供体制	49
別紙13	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療症例	50
別紙14	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	52
別紙16	(指定)	地域の医療機関等に対する緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口情報	55
別紙17	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	56
別紙18	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	57
別紙20	(指定)	地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	58
別紙21	(指定)	地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)	59
別紙22	(指定)	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	62
別紙23	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	67
別紙24	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	68
別紙25	(指定)	別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定	69
別紙26	(指定)	地域の医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修	70
別紙27	(指定)	地域の医師等を対象としたがんのその他の緩和ケアに関する研修の実施状況	71
別紙28	(指定)	診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンス	72
別紙29	(指定)	放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラム	73
別紙30	(指定)	相談支援センターで提供している情報	74
別紙31	(指定)	相談支援センターで提供しているがん種別情報	75
別紙32	(指定)	相談支援センターの相談件数と相談支援内容	77
別紙33	(指定)	相談支援センターにおける相談支援の実績	78
別紙34	(指定)	相談支援センターの相談対応状況	82
別紙35	(指定)	相談支援センターの体制	83
別紙37	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	84
別紙38	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	85
別紙39	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	90
別紙40	(指定)	診療情報管理部門の体制	92
別紙41	(指定)	患者・市民を対象としたがんに関する市民講演会の実施状況	93
別紙42	(指定)	地域住民に対するアピール	94

<以下は特定機能病院の場合あるいは都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ>			
別紙43	(指定)	放射線療法部門の名称・組織	
別紙44	(指定)	放射線療法部門の体制	
別紙45	(指定)	化学療法部門の名称・組織	
別紙46	(指定)	化学療法部門の体制	
<以下は特定機能病院の場合のみ>			
別紙47	(指定)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修の実施状況	
<以下は都道府県がん診療連携拠点病院の場合のみ>			
別紙48	(指定)	主に地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施の実施状況	
別紙49	(指定)	都道府県がん診療連携協議会の開催記録	
別紙50	(指定)	都道府県がん診療連携協議会の体制	
<以下は別ファイルおよび任意様式>			
別紙15(別添)	(指定)	緩和ケアに関する広報	95
別紙19(別添)	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制	97
別紙36(別添)	(指定)	相談支援センターの状況	104
<以下は都道府県がん診療連携拠点病院の場合のみ>			
別紙51	(任意)	セカンドオピニオンが可能な県内医療機関一覧	
別紙52	(任意)	県内の我が国に多いがん以外のがんについて地域連携クリティカルパスの整備状況	
別紙53	(任意)	県内の地域がん診療拠点病院が実施する別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定	
別添資料	別紙4	院内クリティカルパスの電子媒体の提出について	
		全てのパスを電子媒体で提出	
	別紙21	地域連携クリティカルパスの電子媒体の提出について	
		今回は、電子媒体での提出はなし	

# がん診療連携拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書

平成22年9月1日時点について記載

1. 推薦区分	(1) 都道府県がん診療連携拠点病院	(2) 地域がん診療連携拠点病院	
2. 新規・更新の別	(1) 新規指定	(2) 指定更新[指定年月日:平成22年3月3日]	(3) 現況報告

※上記1, 2について、該当する項目を口で囲むこと。

### 3. 病院概要

(1)病院名 (表紙シートの病院名を反映)	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院	
(2)所在地等		
郵便番号	591-8025	
住所	大阪府堺市北区長曾根町1179番地3	
電話番号(代表)	072-252-3561	
FAX番号(代表)	072-255-3349	
e-mail(代表)		
HPアドレス	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
所属2次医療圏	堺	
(3)開設		
①開設者	独立行政法人 労働者健康福祉機構	
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	昭和37年3月20日	
(4)アクセス情報		
①鉄道	地下鉄御堂筋線 新金岡駅から 徒歩10分	
②バス	南海バス 労災病院前バス停から 徒歩0分	
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速道路堺インターから 10分	
④駐車場	358 台	
(5)面積		
①土地	47990 m <sup>2</sup>	
②建物	67814 m <sup>2</sup>	
(6)診療時間		
①外来診療受付時間	月曜～金曜 8時15分～11時30分	
②外来診療時間	月曜～金曜 8時15分～17時	
③休診日	毎週土曜日、日曜日 その他(祝日、12月29日～1月3日)	
④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
⑤初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)
(7)診療科		
開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名))を以下に記載		
開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
内科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器内科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器内科	あり	(あり・休診中・なし)
消化器内科	あり	(あり・休診中・なし)
心臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
血液内科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
腎臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
神経内科	なし	(あり・休診中・なし)
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)
老年内科	なし	(あり・休診中・なし)
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)
外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器外科	なし	(あり・休診中・なし)
心血管外科	あり	(あり・休診中・なし)

心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器外科	なし	(あり・休診中・なし)
乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	あり	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
産婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
産科	なし	(あり・休診中・なし)
婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
眼科	あり	(あり・休診中・なし)
耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
放射線診断科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線治療科	あり	(あり・休診中・なし)
病理診断科	あり	(あり・休診中・なし)
臨床検査科	なし	(あり・休診中・なし)
救急科	なし	(あり・休診中・なし)
児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科(新生児)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科	あり	(あり・休診中・なし)
小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科口腔外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器科	なし	(あり・休診中・なし)
精神神経科	なし	(あり・休診中・なし)
神経科	なし	(あり・休診中・なし)
麻酔科	あり	(あり・休診中・なし)
緩和ケア科	なし	(あり・休診中・なし)
緩和医療科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)
内分泌・代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)
糖尿病・代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓内科	なし	(あり・休診中・なし)
心臓血管内科	なし	(あり・休診中・なし)
緩和ケア内科	なし	(あり・休診中・なし)
化学療法科	なし	(あり・休診中・なし)
総合内科	なし	(あり・休診中・なし)



医療安全対策加算 (A234)	あり	(あり、なし)	871	件	入院初日
退院調整加算 (A238)	なし	(あり、なし)	0	件	入院時1回、退院時1回
救命救急入院料1 (A300)	なし	(あり、なし)	0	件	1日につき
救命救急入院料2 (A300)	なし	(あり、なし)	0	件	1日につき
特定集中治療室管理料 (A301)	なし	(あり、なし)	0	件	1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料 (A301-2)	なし	(あり、なし)	0	件	1日につき
ニコチン依存症管理料 (B001-3-2)	あり	(あり、なし)	138	件	診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり、なし)			件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料(計画策定病院) (B005-6-1)	なし	(あり、なし)	0	件	退院時1回
薬剤管理指導料 (B008)	あり	(あり、なし)	25,147	件	週1回
医療機器安全管理料 (B011-4)	あり	(あり、なし)	525	件	1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(Ⅲ)(D026)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり、なし)	23,336	件	月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
ポジロン断層撮影 (E101-2)	なし	(あり、なし)	0	件	一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準 (E101-3)	なし	(あり、なし)	0	件	一連につき1回
無菌製剤処理料1 (G020)	あり	(あり、なし)	5,143	件	1日につき
輸血管理料Ⅰ (K920-2)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
輸血管理料Ⅱ (K920-2)	なし	(あり、なし)	0	件	月1回
放射線治療管理料 (M000)	あり	(あり、なし)	295	件	分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算 (M000)	あり	(あり、なし)	292	件	1日につき
外来放射線治療加算 (M000)	あり	(あり、なし)	2,346	件	1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準 (M001)	あり	(あり、なし)	4,062	件	1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準 (M000)	なし	(あり、なし)	0	件	1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準 (M001-3)	あり	(あり、なし)	24	件	1回
テレパロジによる術中迅速病理組織標本作製料(N003)	なし	(あり、なし)	0	件	1手術につき
がん患者カウンセリング料 (B001-23)	なし	(あり、なし)	0	件	1回
(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)		917	人	
<p>・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。</p>					
①職種別内訳					
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。					
		非常勤		常勤	
		※(常勤換算)			
医師	0.73	人	181	人	
歯科医師	0	人	4	人	
薬剤師	5.49	人	24	人	
保健師	1.85	人	0	人	
助産師	0.91	人	31	人	
看護師	38.17	人	527	人	
准看護師	0.53	人	3	人	
理学療法士	1.67	人	9	人	
作業療法士	0	人	3	人	
視能訓練士	4.19	人	3	人	
言語聴覚士	0.97	人	2	人	
義肢装具士	0	人	0	人	
歯科衛生士	1.18	人	1	人	
歯科技工士	0	人	1	人	
診療放射線技師	0.97	人	28	人	
臨床検査技師	1.37	人	41	人	
衛生検査技師	0	人	0	人	
臨床工学技師	0	人	7	人	
管理栄養士	0.97	人	4	人	
栄養士	0	人	0	人	
社会福祉士	0.97	人	2	人	
精神保健福祉士	0	人	0	人	
介護福祉士	0	人	0	人	
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。					
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について					
		非常勤		常勤	
		※(常勤換算)			
(社)日本整形外科学会 整形外科専門医	0	人	14	人	
(社)日本皮膚科学会 皮膚科専門医	0	人	1	人	
(社)日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0.5	人	6	人	
(社)日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0	人	3	人	
(社)日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0	人	1	人	
(財)日本眼科学会 眼科専門医	0	人	6	人	
(社)日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0	人	3	人	
(社)日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0	人	3	人	
(社)日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0	人	4	人	
(社)日本形成外科学会 形成外科専門医	0	人	1	人	

(社)日本病理学会 病理専門医	0	人	2	人
(社)日本内科学会 総合内科専門医	0	人	6	人
(社)日本外科学会 外科専門医	0	人	11	人
(社)日本肝臓学会 肝臓専門医	0	人	3	人
(社)日本感染症学会 感染症専門医	0	人	1	人
(社)日本血液学会 血液専門医	0	人	0	人
(社)日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0	人	0	人
(財)日本消化器病学会 消化器病専門医	0	人	4	人
(社)日本腎臓学会 腎臓専門医	0	人	2	人
(社)日本小児科学会 小児科専門医	0	人	2	人
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0	人	3	人
(社)日本超音波医学会 超音波専門医	0	人	3	人
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	人	2	人
(社)日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0	人	2	人
(社)日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0	人	1	人
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	1	人	0	人
(社)日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0	人	3	人
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人 日本核医学会 核医学専門医	0	人	2	人
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	人	2	人
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	0	人	1	人
有限責任中間法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	人	3	人
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本総合病院精神医学会 一般病院精神医学専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会 専門医	0	人	0	人
日本緩和医療学会 暫定指導医	0	人	0	人
がん治療認定医機構 がん治療認定医	0	人	11	人
日本放射線腫瘍学会 認定医	0	人	1	人
(社)日本精神神経学会 精神科専門医	0	人	1	人
(社)日本泌尿器科学会/日本Endourology・ESWL学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	2	人
日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	0	人	2	人
日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	0	人	2	人
日本IVR学会IVR 専門医	0	人	0	人
有限責任中間法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0	人	2	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	0	人	2	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	0	人	6	人
その他学会・専門医等(記載は10個まで 暫定指導医、暫定教育医等は記載しないこと)				
(社)日本循環器学会 専門医	0	人	8	人
(社)日本内分泌学会 専門医	0	人	2	人
(社)日本糖尿病学会 専門医	0	人	5	人
(社)日本老年医学会 専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本胸部外科学会 心臓血管外科 専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会 専門医	0	人	2	人
特定非営利活動法人 日本血管外科学会 専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本リウマチ学会 専門医	0	人	2	人
(社)日本透視医学界 専門医	0	人	2	人
一般社団法人 日本脳卒中学会 専門医	0	人	3	人
<b>歯科医師</b>				
(社)日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	2	人
(社)日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	人
<b>看護師</b>				
(社)日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	3	人
(社)日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	2	人
(社)日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	1	人
IVR学会認定看護師	0	人	0	人
<b>③その他専門的技術・知識を有する医療従事者</b>				
	※(常勤換算)		常勤	
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人	1	人
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	人	1	人
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	人	1	人
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	0	人	1	人
日本臨床細胞学会 細胞検査士	0	人	4	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	人	5	人
日本医学放射線学会 医学物理士	0	人	0	人
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人	1	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	1	人

四病院団体協議会／医療研修推進財団 診療情報管理士	2.91	人	6	人
その他	0	人	0	人
	0	人	0	人
	0	人	0	人
<b>④その他の従事者</b>				
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0	人	0	人
診療録管理部門の職員	2.91	人	2	人
医療心理に携わる者	0	人	1	人
治験コーディネーター	0	人	0	人
データマネージャー (医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネジメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人	0	人
生物統計家 (統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学の研究デザインやデータの統計解析を担当する。)	0	人	0	人
医師事務作業補助者	0	人	7	人
看護業務補助者	30.51	人	7	人
<b>(11)その他(平成22年9月1日現在)</b>				
<b>①承認等の状況</b>				
地域医療支援病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認あり	(承認あり、承認なし)
<b>②夜間(深夜も含む)救急対応の可否</b>				
			可	(可、否)
<b>③各種委員会の設置状況</b>				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年 8	回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年 6	回開催
<b>④診療情報管理の状況</b>				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
入院病名オーダー			あり	(あり、なし)
外来病名オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			なし	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい・いいえ)
ICD-10を外来病名管理に利用している			いいえ	(はい・いいえ)
<b>⑤遠隔医療システム等の導入状況</b>				
遠隔画像診断			なし	(あり、なし)
遠隔病理診断			あり	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
<b>(12)患者数・診療件数の状況</b>				
<b>①患者数等</b>				
年間新入院患者数(平成21年1月1日～12月31日)			17,428	人
年間新入院がん患者数(平成21年1月1日～12月31日) ※1			4,086	人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合			23.4%	
年間外来のべがん患者延数(平成21年1月1日～12月31日) ※3			84,207	人
年間院内死亡がん患者数(平成21年1月1日～12月31日) ※1			151	人
新入院のべ患者数(原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者) ※4			6,184	人
うちのべがん患者数 (新入院患者数に占めるがん患者の割合)			1,274	人
			20.6%	
うちのべ肺がん患者数(ICD-10コード C34\$)			3	人
うちのべ胃がん患者数(ICD-10コード C16\$)			75	人
うちのべ大腸がん(直腸がんを含む)患者数(ICD-10コード C18\$, C19, C20)			99	人
うちのべ肝臓がん患者数(ICD-10コード C22\$)			209	人
うちのべ乳がん患者数(ICD-10コード C50\$)			64	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$ は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、当年の再来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。				
<b>②麻酔及び手術等の状況(平成22年4月1日～7月31日)</b>				
全身麻酔(静脈麻酔は除く)			1,253	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数			401	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数			0	件
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$			0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$			0	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数			18	件
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572			18	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22			1	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531			16	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532				

エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$, K748\$	38	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3, K740-2\$	28	件
内視鏡手術 K7211	3	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	7	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	22	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	64	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	1	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	6	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182, K511\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	0	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	7	件
③ 放射線治療		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
ア-1 のべ患者実数 (平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
体外照射	358	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	人
定位照射(体幹部)	36	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	39	人
ア-2 のべ患者実数 (平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
例:平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
<入院>		
肺がん	0	人
胃がん	0	人
肝がん	0	人
大腸がん	0	人
乳がん	0	人
<外来>		
肺がん	54	人
胃がん	0	人
肝がん	0	人
大腸がん	0	人
乳がん	114	人
イ-1 照射回数 (平成22年4月1日～7月31日ののべ照射回数)		
体外照射	2,508	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	回
定位照射(体幹部)	160	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	195	回
イ-2 のべ照射回数 (平成22年4月1日～7月31日)		
<入院>		
肺がん	0	回
胃がん	0	回
肝がん	0	回
大腸がん	0	回
乳がん	0	回
<外来>		
肺がん	684	回
胃がん	0	回
肝がん	0	回
大腸がん	0	回
乳がん	1,824	回
④ がんに係る化学療法 (平成22年4月1日～7月31日)		
ア のべ患者数 (化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
例:当月中に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
<入院>	100	人
<外来>	280	人
イ のべ処方件数 (抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
例:当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
<入院>	229	件
<外来>	1,416	件

⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	9,850	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	10,993	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	401	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	13	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	4	%
イ 画像診断等の件数 (平成21年1月1日～12月31日)		
上部消化管内視鏡検査	4,113	件
気管支内視鏡検査	0	件
大腸内視鏡検査	1,734	件
血管連続撮影	452	件
スパイラルCT検査	18,353	件
CTガイド下生検	3	件
MRI検査	7,941	件
RI診断検査(シンチグラム)	1,088	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	485	件
PET(陽電子断層撮影)検査	0	件

4. がん診療連携拠点病院の指定要件等について

病院名 **独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院**  
 指定要件での扱い  
**A: 必須**  
**B: 原則必須**  
**C: 対応することが望ましい**  
 -: 指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	我が国に多いがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 *「我が国に多いがん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 *「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアをいう。 *「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙3に記載すること。	A	別紙3	
エ	我が国に多いがんについて、クリティカルパスを整備している。 *「クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備している。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備状況を別紙4に記載すること。	A	別紙4	
キ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、定期的を開催している。 *カンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	A	はい	(はい・いいえ)
ク	カンサーボードは、臓器領域ごとに設置されている。	-	一部の臓器領域	(すべての臓器領域ごと、一部の臓器領域のみ、院内でひとつのみ)
ケ	カンサーボードの活動状況について、別紙5に記載すること。	A	別紙5	
② 化学療法の提供体制機能				
ア	急変時等の緊急時に外来化学療法室において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 *「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、カンサーボードと連携協力している。	A	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	A	別紙6	
オ	化学療法のレジメンが、委員会で審査され、組織的に管理されている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	化学療法のレジメンのうち、委員会で審査され、組織的に管理されている比率。	-	75-100%	(75-100%、50-75%、25-50%、25%未満)
キ	委員会で登録・許可された投与計画(事前プロトコル)に基づき実施されている。	-	はい	(はい・いいえ)
ク	委員会で登録・許可された投与計画に基づいて実施されている化学療法の比率。	-	75-100%	(75-100%、50-75%、25-50%、25%未満)
ケ	レジメンが診療科だけでなく、診療領域ごとに決められている	-	はい	(はい・いいえ)
コ	抗がん剤の適応外使用の審議の手続きが、院内で規定されている	-	はい	(はい・いいえ)
サ	必要に応じて、レジメンの数の見直し・整理が行われている	-	はい	(はい・いいえ)
シ	登録レジメン数	-	160	レジメン
ス	レジメン内容について外部から監査を受けている	-	いいえ	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専従または専任医師数	1人以上A	1	人
イ	うち常勤	1人以上B	1	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	0	人
エ	うち常勤	1人以上C	0	人
オ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従または専任薬剤師数	1人以上A	5	人
カ	うち常勤の専従	-	3	人
キ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従または専任看護師数	1人以上A	9	人
ク	うち常勤の専従	1人以上C	9	人
ケ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7	
③ 放射線療法機能				
ア	定期的な線量計の校正を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)	-	平成22年1月22日	
ウ	外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ	第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	測定機関名	-	その他	(医用原子力技術研究振興財団、その他)
カ	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)	その他の場合	放射線医学総合研究所	
			平成18年11月15日	

診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上A	1	人
イ	うち常勤	1人以上B	1	人
ウ	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	1	人
エ	うち常勤	1人以上C	1	人
オ	放射線治療に携わる常勤の専従診療放射線技師数	1人以上A	3	人
カ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤技術者等の人数	1人以上A	1	人
キ	医学物理士的人数	-	0	人
ク	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8	
<b>④ 緩和ケアの提供体制</b>				
機能				
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9	
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順について別紙10に記入すること。	A	別紙10	
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	-	3	人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記入すること。	A	別紙11	
キ	外来患者に対する緩和ケアの提供体制について別紙12に記入すること。	A	別紙12	
ク	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが週1回程度開催されている。	A	はい	(はい・いいえ)
ケ	緩和ケアチームに対する新規診療症例について別紙13に記入すること。	A	別紙13	
コ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙14に記入すること。	A	別紙14	
サ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
シ	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-		
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		-		
ス	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙15(別ファイル)に記入すること	A	別紙15(別添)	
セ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
ソ	緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口(地域に公開している連絡先)を設けるなど、地域の医療機関及び在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
タ	緩和ケアに関する要請及び相談に関する担当窓口情報を別紙16に記入すること。	A	別紙16	
チ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-	0	床
ツ	緩和ケア病棟を有している。(有している場合は、以下の1.2.3.に回答すること)	-	いいえ	(はい・いいえ)
テ	1.緩和ケア病棟に入院した患者の申込みから入院するまでの平均待機期間(転棟、緊急入院を除く)(平成21年1月1日～12月31日)に緩和ケア病棟に入院した者)	-	0	日
ト	2.緩和ケア病棟の年間新入院患者数(平成21年1月1日～12月31日)	-	0	人
ナ	3.緩和ケア病棟の平均在院日数(平成21年1月1日～12月31日)	-	0	日
ニ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。	-	はい	(はい・いいえ)
ヌ	院内で統一した疼痛の評価尺度がある。	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上A	1	人
イ	うち常勤	1人以上B	1	人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上C	0	人
エ	うち常勤	1人以上C	0	人
オ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	1	人
カ	うち常勤	1人以上C	1	人
キ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	1人以上C	1	人
ク	うち常勤	1人以上C	1	人
ケ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	-	0	人
コ	うち常勤	-	0	人
サ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従看護師数	1人以上A	1	人
シ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	1	人
ス	うち常勤	-	1	人
セ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従又は専任の薬剤師数	-	1	人
ソ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従薬剤師数	-	0	人
タ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	0	人
チ	うち常勤	-	0	人
ツ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従又は専任の医療心理に携わる者の数	-	0	人
テ	緩和ケアチームに協力する常勤の専従の医療心理に携わる者の数	-	0	人
ト	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙17に記載すること。	-	別紙17	

⑤ 病理診断				
機能				
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	必要に応じて外部にコンサルテーションできる体制が整っている。	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい	(はい・いいえ)
オ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	病理診断結果がデータベース化されている。	-	はい	(はい・いいえ)
キ	他医療機関からの診断コンサルテーションに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
ク	病理診断の結果等について、患者本人や家族等が希望すれば病理担当医から直接説明を受けることができる体制が整っている	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	3	人
イ	うち常勤	1人以上B	3	人
ウ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	4	人
エ	うち常勤	-	4	人
オ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従又は専任のコメディカルスタッフ数	-	4	人
カ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専従のコメディカルスタッフ数	-	4	人
キ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙18に記載すること	-	別紙18	
⑥ 画像診断				
機能				
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	必要に応じて外部にコンサルテーションできる体制が整っている。	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	臨床グループからの画像診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
オ	画像診断結果がデータベース化されている。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	診断機器がオンライン化され、画像を院内の必要な部署から参照できる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
キ	他医療機関からの診断コンサルテーションに対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	画像診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師数	-	5	人
イ	うち常勤	-	5	人
ウ	画像診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	-	5	人
エ	うち常勤	-	5	人
オ	CT検査およびMRI検査の画像診断の読影レポートが画像診断医にて8割以上作成されている。	-	はい	(はい・いいえ)
⑦ 病病連携・病診連携の協力体制				
ア	地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	地域の医療機関との連携状況について、別紙19に記載すること。	-	別紙19	
ウ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
エ	地域の医療機関との連携協力体制を整備について、別紙20に記載すること。	-	別紙20	
オ	我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスを整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
カ	地域連携クリティカルパスの整備状況について、別紙21に記載すること。	-	別紙21	
キ	地域連携クリティカルパスを活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行っている。	C	はい	(はい・いいえ)
⑧ セカンドオピニオンの提示体制				
ア	我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙22に記載すること。	A	別紙22	
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段			
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	<a href="http://www.orh.go.jp/second_opinion2.html">http://www.orh.go.jp/second_opinion2.html</a>	
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合		
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙23に記載すること。	-	別紙23	
オ	セカンドオピニオン外来がある。	-	いいえ	(はい・いいえ)

⑨ その他			
スタッフのサポート体制			
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
イ	地域がん診療連携拠点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。	-	はい (はい・いいえ)
エ	論文発表・学会発表を病院業績集で報告している。	-	はい (はい・いいえ)
オ	全ての医療スタッフが必要時にインターネットに接続できる環境にある。	-	はい (はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療			
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ (はい・いいえ)
担当科			
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
(2) 医療施設			
① 年間入院がん患者数			
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が1,200人以上である。	C	はい (はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置			
ア	放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい (はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
エ	白血病を専門とする分野に掲げている。	-	はい (はい・いいえ)
オ	無菌病室を設置している。	-	設置 (設置、白血病を専門としているが設置なし、白血病を専門としていない)
カ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい (はい・いいえ)
キ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙24に記載すること。	-	別紙24
③ 敷地内禁煙等			
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙 (敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
		その他の場合記載	
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい (はい・いいえ)
2 研修の実施体制			
(1)	原則として、別途定める「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的実施している。 ※別途定める「プログラム」とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)である。	A	はい (はい・いいえ)
イ	「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修の実施状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25
(2)	ア (1)のほか、原則として、当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断及び緩和ケア等に関する研修を実施すること。なお、当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫するように努めている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断に関する研修の実施状況について別紙26に記載すること。	-	別紙26
ウ	当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修の実施状況について別紙27に記載すること。	-	別紙27
(3)	ア 診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスを毎年定期的開催している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	合同カンファレンスの実施状況について別紙28に記載すること。	-	別紙28
(4)	ア 臨床研修を終了した医師を対象として、がん診療に専門的に携わる医師を育成することを目的に、放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラムを有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
イ	有している場合は、研修プログラムについて別紙29に記載すること。	-	別紙29

3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援センター			
① がんに関する相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という。)を設置	A	はい	(はい・いいえ)
ア がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供を行っている	A	はい	(はい・いいえ)
イ 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介およびがん患者の療養上の相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
エ がん患者の療養上の相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
オ 地域の医療機関及び医療従事者におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
カ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
キ その他相談支援に関することを行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
② 相談支援センターが提供している情報について別紙30に記載すること。		別紙30	
③ 相談支援センターが提供しているがん種別情報について別紙31に記載すること。		別紙31	
④ 相談支援センターにおける相談支援の相談件数と相談内容について別紙32に記載すること。		別紙32	
⑤ 相談支援センターの実績について別紙33に記載すること。		別紙33	
⑥ 相談支援センターの相談支援の相談対応状況について別紙34に記載すること。		別紙34	
⑦ 相談支援センターによる相談支援を受けられる旨について積極的に広報している。	A	はい	(はい・いいえ)
1. 院内の見やすい場所に掲示している。	—	はい	(はい・いいえ)
2. 院内誌、チラシ等で広報している。	—	はい	(はい・いいえ)
3. ホームページに掲載している。	—	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
4. 地域の広報誌等で広報している。	—	はい	(はい・いいえ)
5. その他の方法で掲載している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
⑧ 国立がんセンターがん対策情報センター(以下「がん対策情報センター」という。)による研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人以上配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
⑨ 「がん対策情報センター」による研修を修了した専任の相談支援に携わる者を配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
ア がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1),(2),(3)の修了者数	A	2	人
イ がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1),(2)の修了者数	A	3	人
ウ がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1)のみの受講者	—	0	人
⑩ 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
⑪ がんに関する相談等に対する体制について、別紙35に記載すること。	—	別紙35	
⑫ 相談支援センターの状況について別紙36(別ファイル)に記載すること。	—	別紙36(別添)	
⑬ がんに関する相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。	A	はい	(はい・いいえ)
⑭ がん患者団体との連携協力体制の構築に関する取り組みについて、別紙37に記載すること。	—	別紙37	
⑮ 各種対応窓口について別紙38に記載すること。	—	別紙38	
(2) 院内がん登録			
① 健康局総務課長が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録の登録項目数	—	89	項目
院内がん登録の登録実施項目について、別紙39に記載すること。	—	別紙39	
② がん対策情報センターによる研修を受講した専任の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録事務者の体制について別紙40に記載すること。	—	別紙40	
③ 毎年、院内がん登録の集計結果等をがん対策情報センターに情報提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
院内がん登録の集計結果等をがん対策情報センターに情報提供できる対象	—	平成18年10月	診断例から
④ 院内がん登録を活用することにより、当該都道府県が行う地域がん登録事業に積極的に協力している。	A	該当都道府県に協力	(複数の都道府県に協力、該当都道府県に協力、所在都道府県において未実施、協力未実施)
ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
イ 把握している場合は、最新の5年後フォローアップ率も記入すること。	—		%
ウ がん登録データを分析して、ステージ別の症例数を把握している。	—	はい	(はい・いいえ)
エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。	—	いいえ	(はい・いいえ)
オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。	—	把握していない	把握している、他の情報源から把握、把握していない)
カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いている	—	いいえ	(はい・いいえ)
⑤ ア 診療情報管理部門の専従または専任者スタッフ数	—	6	人
イ うち常勤	—	2	人
ウ 診療情報管理部門の専従者スタッフ数	—	6	人
エ うち常勤	—	2	人

(3)その他			
① 我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	その他の方法がある場合		
② 臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。			
ア 進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	<a href="http://www.orh.go.jp">http:// www.orh.go.jp</a>	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	その他の方法がある場合		
イ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報することが望ましい。	-		
1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	<a href="http://">http://</a>	
4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	その他の方法がある場合		
ウ 院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
窓口で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
電話で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
FAXで対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
e-mailで対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
③ その他の情報提供等			
ア 患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	はい	(はい・いいえ)
イ 地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい	(はい・いいえ)
ウ 患者・市民向け講演会を定期的に開催している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙41に記載すること。	-	別紙41	
オ 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙42に記載すること。	-	別紙42	

特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合の指定要件について			
1 (1)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し放射線療法を行う機能を有する部門(以下「放射線療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(2)	放射線療法部門の長として、専従又は専任の放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(3)	放射線療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(4)	放射線療法部門の状況について、別紙43に記載すること	—	別紙43
(5)	放射線療法部門の体制について、別紙44「に記載すること	—	別紙44
(6)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し化学療法を行う機能を有する部門(以下「化学療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(7)	化学療法部門の長として、専従又は専任の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(8)	化学療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(9)	化学療法部門の状況について、別紙45に記載すること	—	別紙45
(10)	化学療法部門の状況について、別紙46に記載すること	—	別紙46
2 (1)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対し、高度のがん医療に関する研修を実施している。	C	(はい・いいえ)
(2)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修を実施状況について別紙47に記載すること。	—	別紙47
3 (1)	他のがん診療連携拠点病院へ診療支援を行う医師の派遣に積極的に取り組んでいる。	A	(はい・いいえ)

都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について			
1 (1)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し放射線療法を行う機能を有する部門(以下「放射線療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(2)	放射線療法部門の長として、専従又は専任の放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(3)	放射線療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(4)	放射線療法部門の状況について、別紙43に記載すること	—	別紙43
(5)	放射線療法部門の体制について、別紙44「に記載すること	—	別紙44
(6)	組織上明確に位置付けられた複数種類のがんに対し化学療法を行う機能を有する部門(以下「化学療法部門」という。)を設置している。	A	(はい・いいえ)
(7)	化学療法部門の長として、専従又は専任の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を配置している。	A	(はい・いいえ)
(8)	化学療法部門の長は、専従である。	C	(はい・いいえ)
(9)	化学療法部門の状況について、別紙45に記載すること	—	別紙45
(10)	化学療法部門の状況について、別紙46に記載すること	—	別紙46
2 (1)	当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施している。	A	(はい・いいえ)
(2)	がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施状況について別紙48に記載すること。	—	別紙48
3 (1)	地域がん診療連携拠点病院等に対し、情報提供、症例相談及び診療支援を行って	A	(はい・いいえ)
4 (1)	都道府県がん診療連携協議会を設置している。	A	(はい・いいえ)
(2)	都道府県がん診療連携協議会の開催状況について、別紙49に記載すること。	—	別紙49
(3)	都道府県がん診療連携協議会の体制について、別紙50に記載すること。	—	別紙50
(4)	当該都道府県におけるがん診療の連携協力体制及び相談支援の提供体制その他のがん医療に関する情報交換を行っている。	A	(はい・いいえ)
(5)	当該都道府県内の院内がん登録のデータの分析、評価等を行っている。	A	(はい・いいえ)
(6)	がんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を作成・共有し、広報している。	A	(はい・いいえ)
(7)	都道府県がん診療連絡協議会で作成しているがんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を別紙51として、提出すること。	—	別紙51(任意)
(8)	都道府県がん診療連絡協議会で作成しているがんの種類ごとに、当該都道府県においてセカンドオピニオンを提示する体制を有するがん診療連携拠点病院を含む医療機関の一覧を広報している。	A	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	—	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	—	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	—	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	—	<a href="http://">http://</a>
	4 地域の広報誌等で広報している。	—	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	—	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合	
(9)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院への診療支援を行う医師の派遣に係る調整を行っている。	A	(はい・いいえ)
(10)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を作成・共有している。	A	(はい・いいえ)
(11)	我が国に多いがん以外のがんについて、地域連携クリティカルパスを整備している。	C	(はい・いいえ)
(12)	都道府県がん診療連絡協議会で作成している当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が作成している地域連携クリティカルパスの一覧を別紙52として提出すること。	—	別紙52(任意)
(13)	当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を作成している。	A	(はい・いいえ)
(14)	都道府県がん診療連絡協議会で作成している県内の地域がん診療拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を別紙53として、提出すること。	—	別紙53(任意)

## 保有する放射線診療機器等の一覧

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

## コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	○社	ABC-12	2009/10/1	64列
1	シーメンス旭	Sen sation	2006/3/30	64列
2	シーメンス旭	Defintion	2007/8/7	61列
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

## 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度 (テスラ数)	マンモコイルの有無
(例)	○社	ABC-12	2008/5/1	1. 5T	あり
1	GE社	SIGNA Horizon LX1.5	1998/3/31	1. 5T	あり
2	シーメンス旭	MAGNETOM Avato	2005/2/7	1. 5T	あり
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## 核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	SPECT	ピッカー社	Prism3000XP	1995/1/31	3検出器
2	ガンマカメラ	GE社	Infinia	2006/2/28	
3					
4					
5					
6					
7					
8					

## マンモトーム

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	シーメンス	マンモマート300Nova	2009/9/25	
2				
3				
4				

## 血管造影連続撮影検査(またはIVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	○社	ABC-12	2009/4/4	
1	DSA	シーメンス旭	ANGIO STAR	1994/3/22	
2	心カテ	東芝	DBX-6000A	2003/1/6	
3	心カテ	東芝	MDX-8000A	2007/7/26	FPD
4					
5					

## 外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2008/10/1	6MV、10MV	あり
1	リニアック	バリアン	Clinac-iX	2010/6/1	4MV,10MV	あり
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						

## 小線源治療装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	マイクロセレクトロン	○社	ABC-12	2007/12/1	イリジウム-192
1	マイクロセレクトロン	ニュークレオン	HDR	1996/3/25	イリジウム-192
2					
3					
4					
5					

## 放射線治療計画システム

## X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	東芝	位置決め用X線装置 LX40A	2010/6/1	
2				
3				
4				
5				

## 放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	東芝	AquilionLB	2010/6/1	
2				
3				
4				
5				
6				

## 三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10	
1	日立	Pinnacle3	2010/6/1	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

## バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2008/10/10
1	なし		
2			
3			

## 高度医療への対応状況（がんに関するもの）

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	高度医療技術名	第2項／第3項(※)	承認年月日	実施件数	担当診療科名
(例)	高周波切除器を用いた子宮筋核手術	第2項	平成21年4月1日	10	婦人科
1	悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	第3項	平成20年3月1日	0	外科
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

注)「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

## 診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	<a href="http://.....">http://.....</a>
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
定位放射線治療	実施可	あり									
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			胸腔鏡下手術	実施可	なし						
		化学療法		実施可	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm</a>
			定位放射線治療	実施可	あり						
		小線源治療	未実施	なし							
光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ			
集学的治療		実施可									
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	4	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 外科	12	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm</a>
光線力学療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ			
集学的治療		実施可		上記の科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	7	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 外科	13	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm</a>
小線源治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容			
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	消化器内科	10	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	消化器内科	4	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			マイクロ波凝固法	未実施	なし						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	放射線診断科	4	いいえ	はい	いいえ	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm</a>
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	形成外科	2	いいえ	いいえ	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2.htm</a>
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
脳腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>	
		化学療法	実施可	あり	脳神経外科	2	はい	いいえ	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him</a>
			定位放射線治療	実施可	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		神経膠腫、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、転移性脳腫瘍、頭蓋咽頭腫、悪性リンパ腫、小脳血管芽腫、胚細胞腫、神経膠芽腫									
脊髄腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>	
		化学療法	実施可	なし	脳神経外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:脊髄腫瘍など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		脊髄髄内腫瘍(神経膠腫)									
眼、眼窩腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	形成外科	4	いいえ	いいえ	いいえ		
		冷凍凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		眼動注	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	実施可	なし						
集学的治療	未実施										
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		眼瞼基底細胞癌									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
頭頸部がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	あり	耳鼻咽喉科 歯科口腔外科	4	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉科 歯科口腔外科	4	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可			上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど 上咽頭癌、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌、舌根・頬粘膜癌、唾液腺癌、口腔底癌、鼻・副鼻腔癌、舌がん、歯肉がん、粘膜がん									
甲状腺がん	診療可	手術		実施可	あり	耳鼻咽喉科 外科	3	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
		化学療法		実施可	なし	耳鼻咽喉科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
			放射性ヨード内服治療	未実施	なし						
集学的治療	実施可			上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:甲状腺がん 甲状腺癌									
食道がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	なし	外科	2	はい	いいえ	いいえ	http://www.orh.go.jp
			胸腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器内科	10	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him
小線源治療	実施可		なし								
光線力学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ			
集学的治療	実施可			上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など 下部食道癌、胸部食道癌									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
縦隔腫瘍	診療可	手術	開胸手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:胸腺腫など							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											
中皮腫	診療可	手術		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:中皮腫							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											
膵がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 外科	10	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膵がん							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		膵がん									
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 外科	10	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him</a>
			小線源治療	未実施	あり						
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		胆管がん、胆のうがん、乳頭部がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	消化器内科 外科	10	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		十二指腸がん、小腸がん									
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him</a>
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	いいえ	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		腎がん									
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him</a>
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	いいえ	はい	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膀胱がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		膀胱がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him
		腎盂・尿管内注入療法	実施可	あり	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	はい	http://www.orh.go.jp	
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		腎盂がん、尿管がん、尿道がん									
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			化学療法	実施可	なし	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください											
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
			腹腔鏡下手術	未実施	なし						
			腹腔鏡下小切開手術	実施可	あり						
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp/radio/newpage2/him
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし		0	いいえ	はい	いいえ	http://www.orh.go.jp
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:前立腺がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		前立腺がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)		
精巣が ん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him</a>
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:精巣がん 精巣がん								
その他の 男性 生殖器 がん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	5	いいえ	いいえ	はい	<a href="http://www.orh-go.jp">http://www.orh-go.jp</a>	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him</a>
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:陰茎がん 陰茎がん								
子宮が ん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	4	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp">http://www.orh-go.jp</a>
			腹腔鏡下手術(腔式)	実施可	あり	産婦人科	4	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp">http://www.orh-go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him</a>
			小線源治療	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him</a>
		光線力学療法		未実施	なし		0				
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:子宮頸がん、子宮体がん 子宮体癌、子宮頸癌										
卵巣が ん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	4	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp">http://www.orh-go.jp</a>
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	<a href="http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him">http://www.orh-go.jp/radio/newpage2/him</a>
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:卵巣がん 卵巣癌								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
その他の女性生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	4	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp
			小線源治療	実施可	あり						
		集学的治療				上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		卵管癌、膣癌、外陰部がん									
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	形成外科	4	いいえ	いいえ	はい	http://www.orh.go.jp
		化学療法		実施可	あり	形成外科	4	いいえ	いいえ	はい	http://www.orh.go.jp
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		インターフェロン療法		実施可	あり	形成外科 皮膚科	7	いいえ	いいえ	はい	http://www.orh.go.jp
		凍結療法		実施可	あり	形成外科	4	いいえ	いいえ	はい	http://www.orh.go.jp
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		乳房外パジェット病、有棘細胞癌、基底細胞癌、隆起性皮膚線維肉腫、メラノーマ									
悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術	切・離断術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			患肢温存術	未実施	なし						
			再建術	未実施	なし						
			骨移植術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
小線源治療	実施可		なし								
集学的治療		未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
血液腫瘍	診療可	化学療法	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			全身照射	未実施	なし		0				
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など										
小児脳腫瘍	診療可	手術	実施可	なし	脳神経外科	2	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		化学療法	実施可	あり	小児科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など 髄芽腫										
小児網膜芽細胞腫	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		眼動注	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		光凝固術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:小児網膜芽細胞腫										
小児固形											

形腫瘍	各治療の実施状況と実績										
	診療状況 (診療可・診療不可)	治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
小児悪性骨軟部腫瘍	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	なし	小児科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
その他の小児固形腫瘍	診療可	手術	実施可	なし	脳神経外科	2	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		化学療法	実施可	なし	小児科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
	昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											
小児血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	あり	小児科	1	はい	はい	はい	http://www.orh.go.jp	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ	
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
	小線源治療		実施可	なし							
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください 急性リンパ性白血病											
原発不明がん	診療可	手術	未実施	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法	実施可	なし		0	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例:原発不明がん								
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	過去の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内 容の掲 載 (はい・い いえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・い いえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
性腺外 胚細胞 腫	診療可	手術	実施可	なし	泌尿器科 産婦人科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	泌尿器科 産婦人科	9	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科					
		過去の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastroin testinal Stromal Tumor: 消化管 間質腫 瘍)	診療可	手術	実施可	あり	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	あり	消化器内科 外科	12	はい	はい	はい	
		放射線療法	実施可	なし	放射線治療科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科					
		過去の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください	例:GIST GIST							
その他 疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		過去の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください								
その他 疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		過去の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください								
その他 疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		過去の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください								

## 院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

パス整備数 46

パス適応数 234

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除術パス	6	2010/1/20
1	肺がん	放射線療法	肺定位放射線療法	0	2009/6/25
2	胃がん	手術療法	幽門部側胃切除術	14	2010/7/16
3	胃がん	手術療法	胃全摘術	6	2010/7/16
4	胃がん	手術療法	胃粘膜切開剥離術	6	2010/8/27
5	大腸がん	手術療法	結腸切除術	14	2009/3/12
6	大腸がん	手術療法	結腸切除術(ラパロ)	8	2009/6/25
7	大腸がん	手術療法	腹会陰式直腸前方切断術(APR)	4	2009/7/16
8	大腸がん	手術療法	前方切除術	1	2009/10/2
9	大腸がん	手術療法	内視鏡下大腸ポリープ切除術(1泊2日)	6	2010/8/27
10	大腸がん	手術療法	内視鏡下大腸ポリープ切除術(2泊3日)	4	2010/8/27
11	肝がん	その他	経皮的ラジオ波凝固療法	14	2010/8/27
12	肝がん	その他	腹部血管造影肝動脈塞栓術・注入術	25	2010/8/27
13	肝がん	その他	経皮的エタノール注入(PEIT)	3	2010/7/16
14	乳がん	その他	乳房切除術	26	2010/7/16
15	頭頸部がん	手術療法	鎮静・局所麻酔手術(顎骨・腫瘍摘出術)	1	2010/7/16
16	頭頸部がん	手術療法	口腔内手術全身麻酔・経口食(腫瘍摘出術)	1	2010/7/16
17	頭頸部がん	手術療法	口腔内手術全身麻酔・経管食(腫瘍摘出術)	2	2010/7/16
18	頭頸部がん	手術療法	頸部手術(局麻)	0	2010/7/16
19	頭頸部がん	手術療法	頸部手術(全麻)	1	2010/7/16
20	甲状腺がん	手術療法	甲状腺手術	1	2009/5/1
21	腎がん	手術療法	腎摘出術・腎部分切除術(体腔鏡下)	3	2010/7/16
22	膀胱がん	手術療法	経尿道的膀胱腫瘍切除術	30	2010/7/16

23	尿路がん	手術療法	経尿道の手術	0	2010/7/16
24	尿路がん	手術療法	腎尿管全摘出術(体腔鏡下・開腹)	3	2010/7/16
25	前立腺がん	手術療法	前立腺全摘出術	7	2010/7/16
26	子宮がん	手術療法	腔式単純子宮全摘出術	0	2010/8/12
27	子宮がん	手術療法	広汎子宮全摘出術	2	2010/8/12
28	子宮がん	手術療法	子宮頸部切除術	18	2010/8/12
29	子宮がん	手術療法	レゼクトスコープ(腰麻)	2	2010/8/12
30	子宮がん	手術療法	レゼクトスコープ(静麻)	0	2010/8/12
31	子宮がん	手術療法	婦人科開腹術	7	2010/9/27
32	子宮がん	手術療法	腹腔鏡補助下腔式単純子宮全摘出術	1	2010/8/12
33	子宮がん	化学療法	化学療法(TC)	2	2010/8/12
34	子宮がん	手術療法	化学療法(アクブラ)	3	2010/8/12
35	子宮がん	化学療法	化学療法(TCA)	0	2010/8/12
36	子宮がん	化学療法	化学療法(タキソテール)	0	2010/8/12
37	子宮がん	放射線療法	放射線療法(婦人科外照射)	1	2010/8/12
38	子宮がん	放射線療法	放射線療法(婦人科内照射)	0	2010/8/12
39	子宮がん	集学的治療	婦人科化学療法・放射線併用療法(ケラモジ・アクブラ)	5	2010/8/12
40	卵巣がん	手術療法	卵巣腫瘍	5	2010/8/12
41	卵巣がん	化学療法	化学療法(TC)	2	2010/8/21
42	卵巣がん	化学療法	化学療法(アクブラ)	0	2010/8/21
43	卵巣がん	化学療法	化学療法(TCA)	0	2010/8/12
44	卵巣がん	化学療法	化学療法(タキソテール)	3	2010/8/12
45	卵巣がん	集学的治療	婦人科化学療法・放射線併用療法(ケラモジ・アクブラ)	0	2010/8/12
46	甲状腺がん	手術療法	頸部手術(全麻)	3	2010/7/16
47					
48					
49					
50					
51					
52					

53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					

83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
102					
103					
104					
105					
106					
107					
108					
109					
110					
111					
112					

## がんボードの体制および開催実績

期間 平成22年 6月 1日 ～ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

開催数 17 回

がんボード名	がん種	メンバーの診療科名	メンバー職名・職種(◎:リーダー)	開催数(回)	内容	新規治療開始患者のうち検討症例の割合	
(例)	乳がんカンファレンス	乳がん	乳腺外科腫瘍内科	◎乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー	6	新規治療開始患者の治療方針の決定および経過報告をする。	全例実施 75%以上-100%未満 50%以上-75%未満 25%以上-50%未満 25%未満実施
1	合同腫瘍検討会(乳腺外来)	乳がん	外科	◎乳腺外科部長、外科医師、放射線科医師、主治医、研修医、看護師、薬剤師、超音波技師、放射線技師	4	新規治療開始患者の治療方針の決定および経過報告	75%以上-100%未満実施
2	消化器外科・内科合同カンファレンス	胃がん 膵臓 肝臓	消化器内科 外科	◎外科部長、外科副部長、外科医師、消化器内科部長、消化器内科副部長、消化器内科医師、薬剤師、病理診断部長	2	術後検討会(病理組織の問題症例に対するもの)	25%未満実施
3	泌尿器科カンファレンス	腎臓	泌尿器科	◎泌尿器科部長、放射線科部長、臨床病理科部長、泌尿器科副部長、泌尿器科医師、薬剤師	1	術後検討会	25%未満実施
4	産婦人科カンファレンス	子宮がん	産婦人科	◎産婦人科部長、放射線科部長、産婦人科副部長、臨床病理科副部長、看護師長、産婦人科医師、薬剤師	8	症例検討	50%以上-75%未満実施
5	合同腫瘍カンファレンス(脳神経外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、皮膚科、形成外科)	頭頸部癌 口腔癌 皮膚癌 脳腫瘍	脳神経外科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 皮膚科 形成外科	◎脳神経外科部長、耳鼻咽喉科部長、歯科口腔外科部長、形成外科部長、放射線科部長、脳外科医師、耳鼻科医師、口腔外科医師、形成外科医師、薬剤師、看護師	2	術前術後治療方針に関する検討会	50%以上-75%未満実施
6							
7							
8							

9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

## 化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ~ 8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
がん化学療法推進分科会	◎副院長兼消化器内科部長、外科部長、脳神経外科部長、泌尿器科部長、産婦人科副部長、耳鼻咽喉科部長、歯科口腔外科部長、看護師、薬剤師、事務局	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
4月5日	がん化学療法推進分科会	1
4月7日	がん化学療法推進分科会	1
5月7日	がん化学療法推進分科会	0
5月31日	がん化学療法推進分科会	3
6月1日	がん化学療法推進分科会	1
6月14日	がん化学療法推進分科会	1
6月23日	がん化学療法推進分科会	10
8月2日	がん化学療法推進分科会	2

## 外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/ 兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)	医師	腫瘍内科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	看護師		常勤	専従(8割以上)	3	日本放射線腫瘍/日本がん看護学会がん放射線治療看護 セミナー受講(2009年) 大阪府看護協会がん化学療法を受ける患者の看護受講 (2010年)
2	看護師		常勤	専従(8割以上)	7	メディカ出版末期がん患者へのスピリチュアルと家族ケア のポイント受講(2010年) 日本看護協会乳がんの治療と看護受講(2010年) 日本看護協会終末期医療とこれからの課題受講(2010年)
3	看護師		常勤	専従(8割以上)	6	がん化学療法看護認定看護師(2010年)
4	看護師		常勤	専従(8割以上)	5	メディカ出版消化器がん化学療法の実際受講(2010年) 日本看護協会乳がんの治療と看護受講(2010年) 大阪府立大学オンコロジーチーム養成プランがん看護イン テンシブコース受講(2010年)
5	看護師		常勤	専従(8割以上)	5	メディカ出版末期がん患者へのスピリチュアルと家族ケア のポイント受講(2010年) 日本看護協会消化器がん化学療法の実際受講(2010年) 大阪府立大学オンコロジーチーム養成プランがん看護イン テンシブコース受講(2010年)
6	看護師		常勤	専従(8割以上)	3	エキスパートフォーラムがん薬物療法実践セミナー受講 (2008年) 日本放射線腫瘍/日本がん看護がん放射線治療看護セ ミナー受講(2009年)
7	看護師		常勤	専従(8割以上)	5	放医研放射線看護過程(2008年) 日本看護協会がん集約的医療(2008年) 中外製薬がん看護セミナー受講(2010年)
8	看護師		常勤	専従(8割以上)	1	
9	看護師		常勤	専従(8割以上)	0.75	メディカ出版消化器がん化学療法の実際受講(2010年)
10	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	22	日本医療薬学会がん指導薬剤師(2010年) 日本医療薬学会認定薬剤師(2009年) 日本病院薬剤師会がん専門薬剤師(2008年)
11	薬剤師		常勤	専任(5割以上 8割未満)	20	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2009年) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師(2007年)
12	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	5	日本薬剤師研修センター研修薬剤師(2008年)
13	薬剤師		常勤	専従(8割以上)	1	
14	薬剤師		常勤	専任(5割以上 8割未満)	1	日本薬剤師研修センター研修薬剤師(2009年)

15	医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	31	日本内科学会認定医(1990年)、日本消化器病学会専門医(1989年)、日本肝臓学会専門医(1994年)、日本消化器内視鏡学会専門医(1989年)
16	医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	25	日本内科学会認定医(1994年)、日本消化器病学会専門医(1997年)、日本肝臓学会専門医(1997年)、日本消化器内視鏡学会専門医(1998年)
17	医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	10	日本内科学会認定医、日本消化器病学会認定医、日本肝臓学会認定医
18	医師	外科	常勤	専任(5割以上8割未満)	32	日本外科学会専門医(2004年)、日本消化器外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医(2002年)
19	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	27	日本外科学会専門医(2004年)、日本乳癌学会専門医(2005年)、日本消化器外科学会認定医(1990年)
20	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	24	日本消化器病学会(2003年)、日本消化器外科学会専門医
21	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	23	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医
22	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	17	日本外科学会専門医(2001年)
23	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	16	日本外科学会専門医(2003年)、日本乳癌学会専門医
24	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	11	日本外科学会専門医(2006年)
25	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	11	日本外科学会専門医(2007年)
26	医師	外科	常勤	兼任(5割未満)	9	日本外科学会専門医
27	医師	産婦人科	常勤	兼任(5割未満)	19	日本産婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医(2007年)、日本産婦人科内視鏡学会技術認定医
28	医師	産婦人科	常勤	兼任(5割未満)	9	日本産婦人科学会専門医(2006年)
29	医師	産婦人科	常勤	兼任(5割未満)	8	日本産婦人科学会専門医(2007年)
30	医師	歯科口腔外科	常勤	兼任(5割未満)	23	日本口腔外科学会指導医(2000年)、日本がん治療認定医機構暫定教育医(2009年)、ICD制度協議会日本口腔感染症学会認定医(2008年)

○ 様式4の1の(1)の②の診療従事者ア～クの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では化学療法専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙8では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

### 放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

診療科	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	放射線療法の経験年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)放射線治療科	常勤	専任(5割以上8割未満)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1:放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	32	日本医学放射線学会専門医(2008年) 日本放射線腫瘍学会認定医(2007年)
2:				
3:				
4:				
5:				
6:				
7:				
8:				
9:				
10:				
11:				
12:				
13:				
14:				
15:				

○ 様式4の1の(1)の③の診療従事者ア～キの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では放射線療法専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙8では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

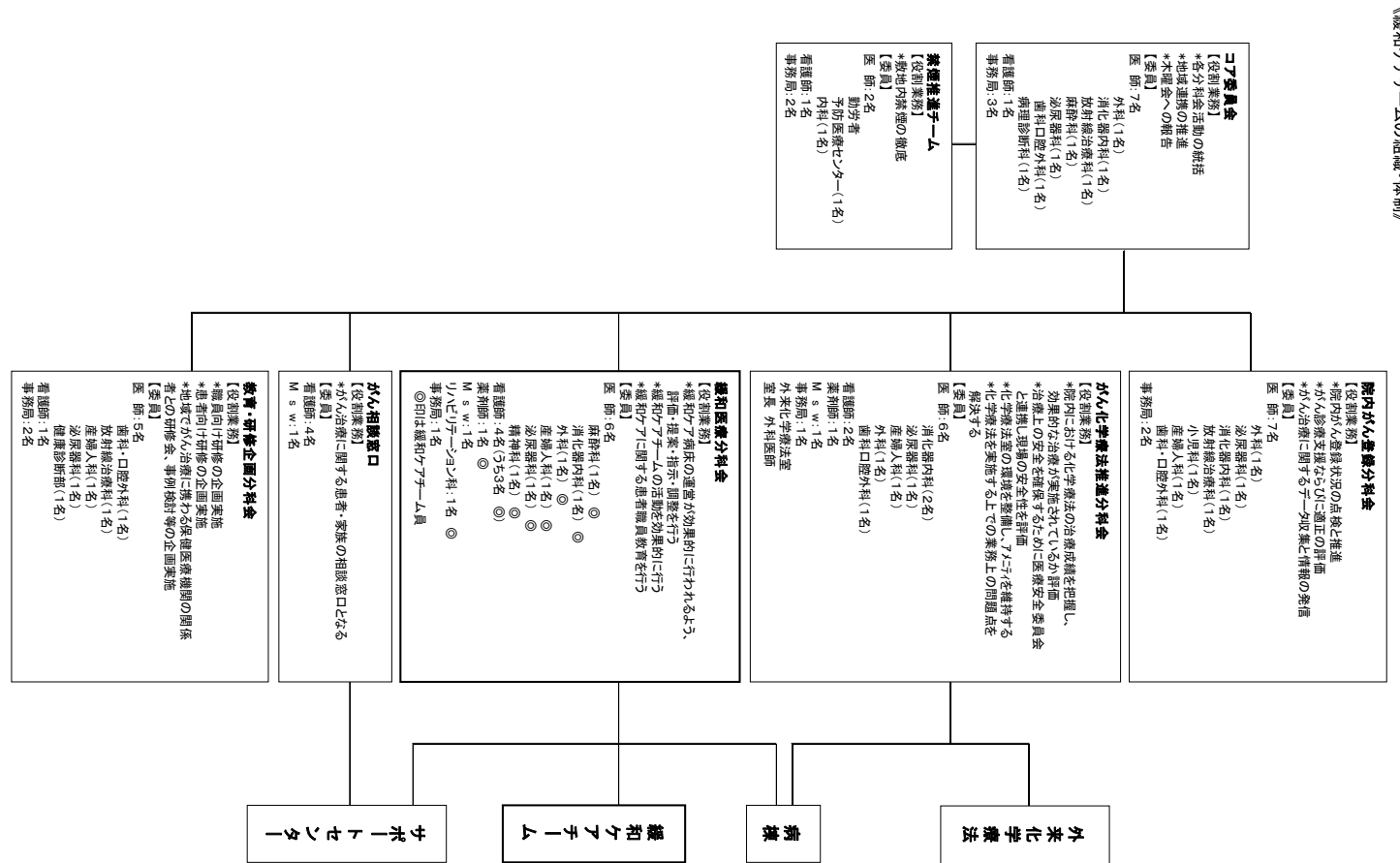
# 緩和ケアチームの組織・体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

## 病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

- 注1)可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。
- 注2)各部署の役職等が記載されている詳細な組織図は必要ありません。また、役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。



《緩和ケアチームの組織・体制》

## 緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 平成22年9月1日時点

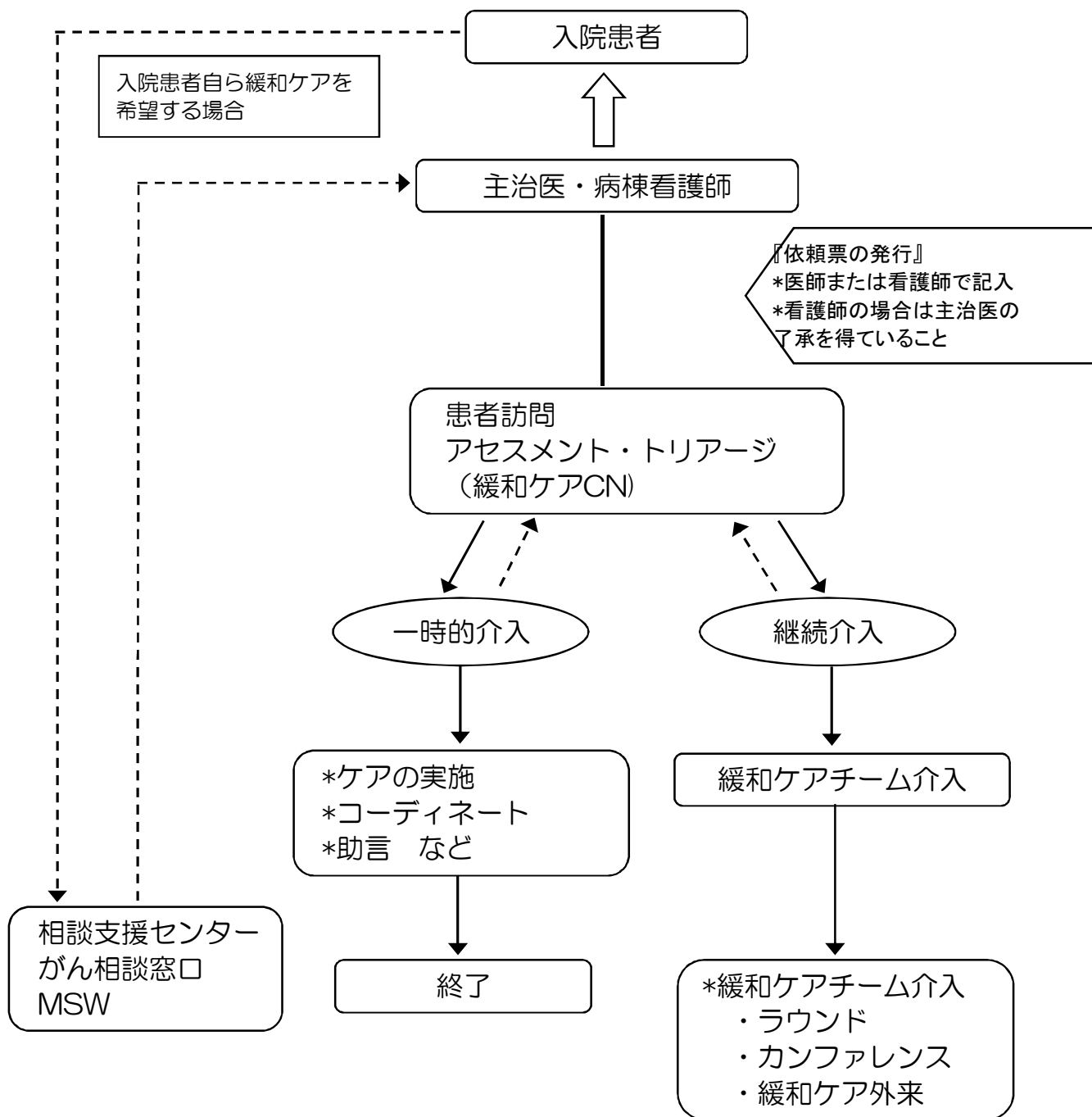
病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

注1) 可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

注2) 患者が自ら緩和ケアを希望する際、どこの窓口、または誰に依頼をすればよいかを含め記載してください。

【緩和ケア提供体制】 H22年度現在



## 外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

注)可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

	月	火	水	木	金
午前 10:00~ 12:00			身体担当医師 緩和ケア認定 看護師		
午後 14:00~ 16:00				精神担当医師 緩和ケア認定 看護師	
※指定曜日以外でも必要時臨機応変に対応している					

## 外来患者に対する緩和ケアの提供体制

期間 平成22年9月1日時点

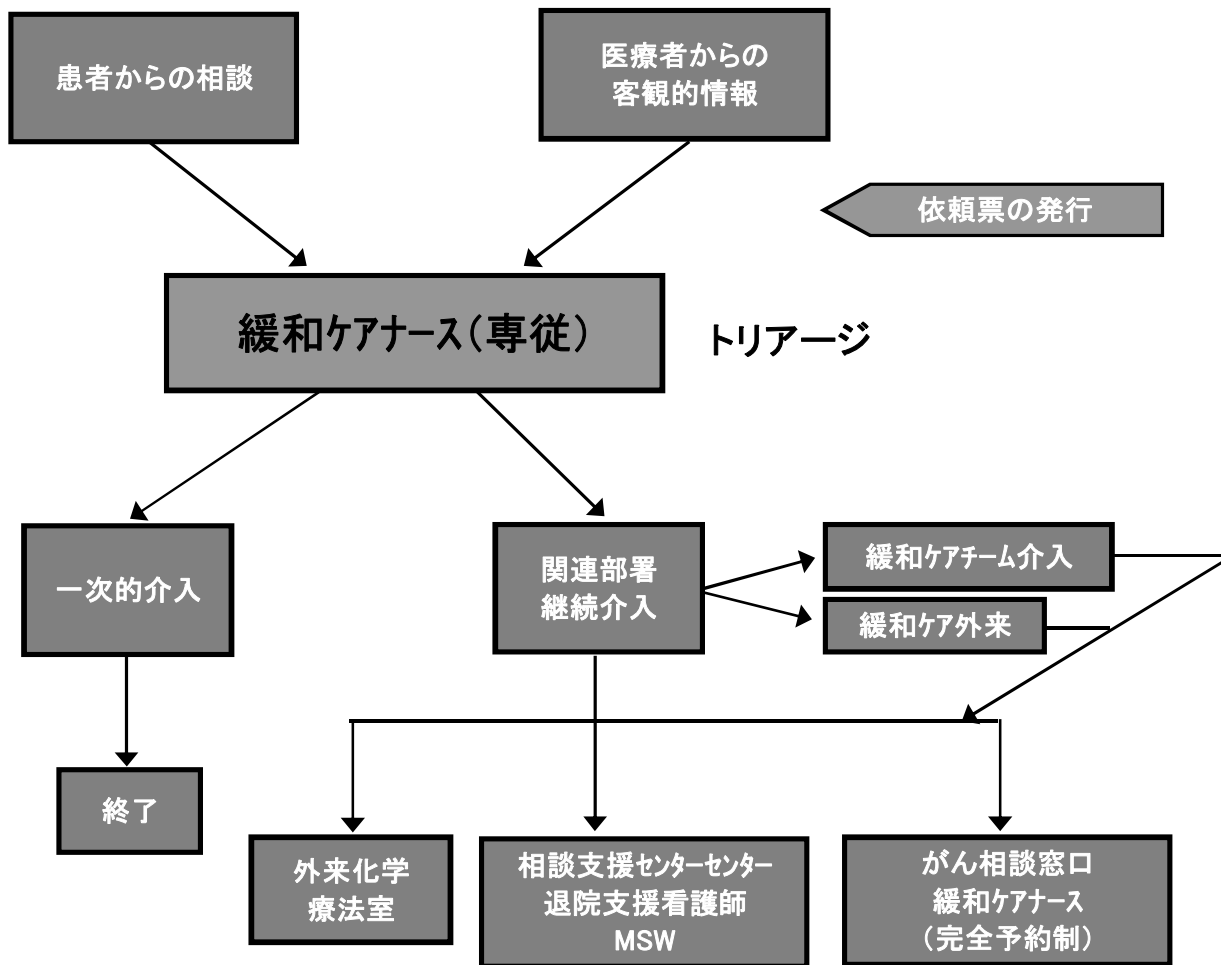
病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

緩和ケア外来を含めた外来における緩和ケアの提供に関係する部署、連携体制、患者の流れ等を必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

注1) 可能な限り、電子媒体で提出をお願いします。

注2) 患者が自ら緩和ケアを希望する際、どこの窓口、または誰に依頼をすればよいかを含め記載してください。

【外来患者に対する緩和ケアの提供体制】



## 緩和ケアチームに対する新規診療症例

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

総数

22

注1) 診療回数は、緩和ケアチームによる診療が診療録に記載されたもののみとすること。

注2) 緩和ケア病棟に入院している期間の診療は除くこと。

注3) 記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	外来/ 入院	主病名	主診療科	診療 依頼日	依頼者の 所属 自施設/ 他施設/ その他	診療依頼者	診療依頼内容	診療 開始日	診療 終了日	診療 回数	診療内容
(例)	外来	肺がん	呼吸器内科	6月1日	他施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月5日	継続中	8	疼痛コントロール、カウンセリング
1	入院	胃がん	外科	6月2日	自施設	医師	せん妄	6月2日	6月17日	4	薬物療法
2	入院	肝がん	消化器内科	6月2日	自施設	医師	疼痛、倦怠感、抑うつ、家族のサポート	6月2日	7月28日	5	疼痛コントロール
3	入院	直腸がん	外科	6月2日	自施設	医師	疼痛、抑うつ	6月2日	6月30日	8	疼痛コントロール精神的介入
4	入院	胃がん	外科	6月2日	自施設	医師	疼痛、不安	6月2日	6月9日	2	疼痛コントロール、精神的介入
5	入院	前立腺がん	泌尿器科	6月2日	自施設	医師	疼痛、悪心	6月2日	6月16日	2	疼痛コントロール、悪心薬物コントロール
6	入院	喉頭がん	耳鼻咽喉科	6月2日	自施設	医師	疼痛	6月2日	7月7日	5	疼痛コントロール
7	入院	胃がん	外科	6月2日	自施設	医師	疼痛、腹部膨満	6月2日	6月16日	2	疼痛コントロール、腹部膨満への介入
8	入院	肝がん	外科	6月3日	自施設	医師	せん妄	6月3日	6月10日	2	薬物療法
9	入院	子宮体がん	産婦人科	6月16日	自施設	医師	疼痛	6月16日	6月18日	1	疼痛コントロール
10	入院	肝がん	消化器内科	6月16日	自施設	医師	全身倦怠感、悪心、呼吸困難	6月16日	6月17日	1	苦痛緩和における鎮静
11	入院	歯肉がん	歯科口腔外科	6月16日	自施設	医師	呼吸困難	6月16日	7月7日	4	鎮静
12	入院	肝がん	消化器内科	6月23日	自施設	医師	全身倦怠感、疼痛	6月23日	7月7日	2	疼痛コントロール、ステロイド導入

13	入院	胃がん	外科	7月1日	自施設	医師	不安、疼痛	7月1日	7月7日	3	カウンセリング、疼痛コントロール、薬物療法
14	入院	肝がん	消化器内科	6月23日	自施設	医師	疼痛、全身倦怠感	6月23日	6月24日	1	疼痛コントロール
15	入院	肝がん	消化器内科	6月23日	自施設	医師	疼痛	6月23日	6月23日	1	疼痛コントロール
16	入院	大腸がん	外科	6月23日	自施設	医師	疼痛、全身倦怠感	6月23日	6月23日	1	疼痛コントロール、薬物療法
17	入院	肝がん	消化器内科	7月6日	自施設	医師	疼痛	7月6日	7月14日	3	疼痛コントロール
18	入院	肝がん	外科	7月7日	自施設	医師	疼痛、腹部膨満感	7月7日	7月8日	2	疼痛コントロール
19	入院	肝がん	外科	7月7日	自施設	医師	疼痛	7月7日	7月8日	1	疼痛コントロール
20	入院	膀胱がん	泌尿器科	7月20日	自施設	医師	疼痛、希死念慮	7月20日	7月26日	2	疼痛コントロール
21	入院	膵がん	消化器内科	7月28日	自施設	医師	悪心	7月28日	7月28日	1	薬物療法
22	入院	肝がん	消化器内科	7月14日	自施設	医師	疼痛、腹部膨満	7月14日	7月28日	2	疼痛コントロール
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

## 緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

2ヶ月分の総数

56

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月16日	30	1	7	外科	麻酔科	外科医、主治医、麻酔科医、看護師、薬剤師、認定看護師
2	6月17日	40	1	9	外科	泌尿器科 消化器内科 麻酔科	泌尿器科医、外科医、消化器内科医、麻酔科医、MSW、認定看護師、薬剤師
3	6月23日	15	1	6	消化器内科	麻酔科 外科	消化器内科主治医、外科医、看護師、薬剤師、麻酔科医、認定看護師
4	6月16日	15	1	6	外科	麻酔科	外科主治医、外科医、麻酔科医、看護師、認定看護師、薬剤師
5	6月2日	15	1	7	外科	麻酔科	外科主治医、外科医、麻酔科医、看護師、薬剤師、認定看護師、退院支援ナース
6	6月16日	15	1	7	消化器内科	外科 麻酔科	外科医、消化器内科、主治医、麻酔科医、看護師、薬剤師、認定看護師
7	6月16日	15	1	7	消化器内科	麻酔科 外科	外科医、消化器内科、主治医、麻酔科医、看護師、薬剤師、認定看護師
8	6月23日	15	1	7	消化器内科	麻酔科 外科	外科医、消化器内科、主治医、麻酔科医、看護師、薬剤師、認定看護師

9	6月16日	15	1	7	外科	麻醉科	外科主治医、外科医、麻醉科医、薬剤師、認定看護師、看護師
10	6月3日	15	1	6	外科	精神科	外科主治医、精神科医、看護師、認定看護師、薬剤師
11	6月16日	15	1	7	産婦人科	外科 麻醉科	産婦人科主治医、麻醉科医、外科医、看護師、認定看護師、薬剤師
12	6月16日	15	1	6	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、麻醉科医、外科医、看護師、認定看護師、薬剤師
13	6月2日	15	1	7	泌尿器科	麻醉科 外科	泌尿器科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
14	6月16日	15	1	7	泌尿器科	麻醉科 外科	泌尿器科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
15	6月16日	15	1	7	歯科口腔外科	麻醉科 外科	歯科口腔外科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
16	6月23日	15	1	7	歯科口腔外科	麻醉科 外科	歯科口腔外科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
17	7月7日	15	1	6	外科	麻醉科	外科主治医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
18	6月23日	15	1	7	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、麻醉科医、外科医、看護師、認定看護師、薬剤師
19	6月23日	15	1	7	耳鼻咽喉科	麻醉科 外科	耳鼻咽喉科主治医、麻醉科医、外科医、看護師、認定看護師、薬剤師

20	6月23日	15	1	7	外科	麻醉科	外科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、薬剤師
21	6月23日	15	1	8	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
22	6月23日	15	1	7	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
23	6月9日	15	1	7	外科	麻醉科	外科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
24	6月9日	15	1	8	外科	麻醉科	外科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
25	6月9日	15	1	6	外科	麻醉科	外科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
26	6月9日	15	1	8	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
27	6月9日	15	1	7	消化器内科	麻醉科 外科	消化器内科主治医、外科医、麻醉科医、認定看護師、看護師、薬剤師
28	6月9日	15	1	9	耳鼻咽喉科	麻醉科 外科	耳鼻咽喉科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
29	6月9日	15	1	7	泌尿器科	麻醉科 外科	泌尿器科主治医、外科医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師
30	7月7日	15	1	6	外科	麻醉科	外科主治医、麻醉科医、看護師、認定看護師、薬剤師

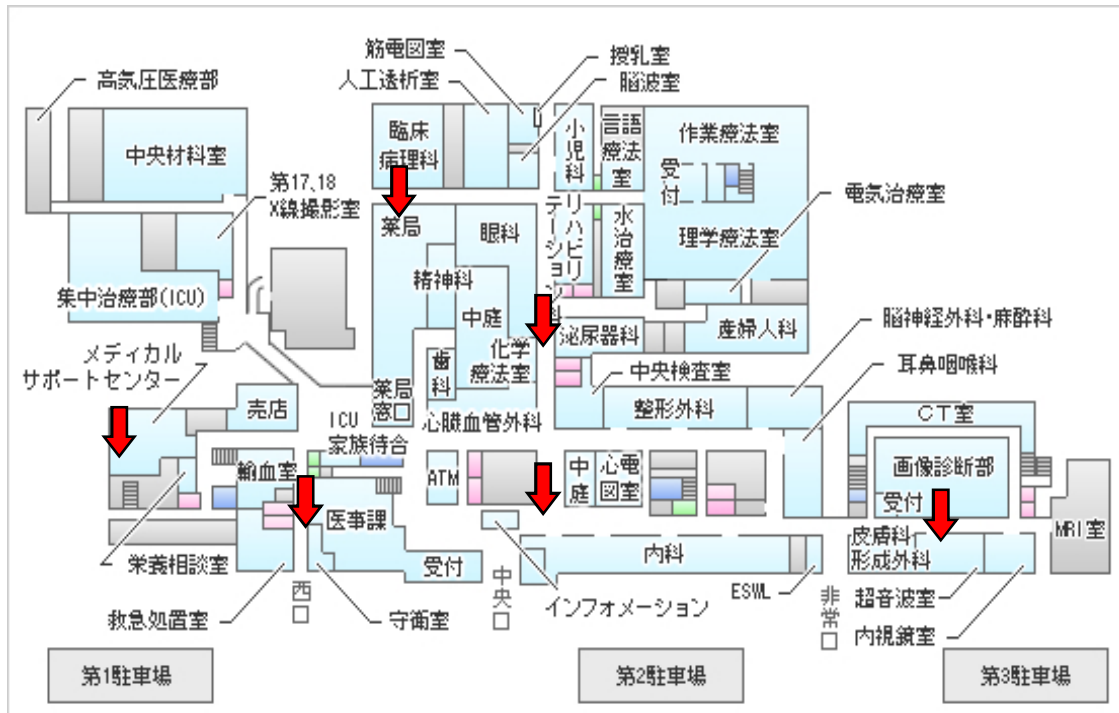
## 緩和ケアに関する広報

病院名 **独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院**

### 緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等 (写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を 示すこと)

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

#### 《院内掲示場所》



■ エレベーター ■ 階段 ■ トイレ ■ 車いす用トイレ

↓ 掲示場所


## 緩和ケアに関する広報

病院名 **独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院**


**緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等**(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

《掲示内容》



# なんでも相談室



不安や気がかりなことがありましたら、私達にお話を聞かせてください。  
一緒に考え、解決に向けて支援させていただきます。

《医療福祉相談》

医療費の公的負担制度について  
転院のための施設や福祉制度について  
退院後の生活について など

担当：医療相談員

《医療安全相談》

医療に関わる患者さんからのご質問、ご意見や苦情について

担当：医療安全相談指導者 仲澤妙美

《がん相談窓口》

**完全予約制**  
詳しくは窓口まで  
相談時間：月～金  
9：00～17：00

がんに関わる様々な相談について  
(例) 緩和ケアについて知りたい  
緩和ケアって何？  
緩和ケアは、どこにあるの？  
がんと言われて不安で自分の病気について知りたい など

担当：緩和ケア認定看護師 松延さゆり、岸部政代  
乳がん看護認定看護師 清沢智美  
がん化学療法認定看護師 平本愛  
看護相談室看護師・医療相談員

**緩和ケアは治療と同時にあなたを支援します(^o^)**

当院には「緩和ケアチーム」があります。  
つらい症状があるときは「緩和ケアチーム」にいつでもご相談下さい  
当院の緩和ケアチームの相談窓口は《がん相談窓口》です

《看護相談》

介護や医療処置の方法について、苦痛や不安について、  
病気や治療上の説明に対し、ご不明な点について  
その他、認知症やご家族の不安やストレスについて など

担当： 認知症看護認定看護師 後藤麻衣子  
看護相談室看護師  
その他 専門看護師・認定看護師

場所 西館1階ケア・サポートセンター  
対応時間 月～金曜日 8:15～17:00

## 地域の医療機関等に対する緩和ケアに関する 要請及び相談に関する担当窓口情報

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

※該当がない場合は、ナシと記載すること。空欄は不可。

担当窓口の名称	なんでも相談室
電話相談の実施	実施
電話相談のための電話番号 直通電話番号／代表番号(内線番号)	072-252-3561(内線4222)
対応曜日と対応時間	月曜日～金曜日 8:15～17:00
予約の要否	不要
予約方法、連絡先	
対応者職種	看護師
相談対象の制限(地域の医療機関／登録医療機関のみ)等の有無	なし
相談対象の制限がある場合の内容	緩和ケア外来のみ
FAX相談の実施	実施
FAX相談のための電話番号	072-255-8203
e-mail相談の実施	実施
相談先emailアドレス	nandemo@orh.go.jp
相談員の職種	看護師、MSW
備考	

## 緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する 身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師(\*)の専門性

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数(年)	専門医等資格
(例)	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	兼任(5割未満)	12	日本ペインクリニック学会認定専門医(2004年)
2	精神症状の緩和に携わる医師	精神科	常勤	専任(5割以上8割未満)	4	日本精神神経学会指導医(2006年)
3	身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	専任(5割以上8割未満)	1	日本外科学会専門医
4	身体症状の緩和に携わる医師	消化器内科	常勤	兼任(5割未満)	1	日本内科学会認定医(1994年)、日本消化器病学会 専門医(1997年)、日本肝臓学会専門医(1997年)
5	身体症状の緩和に携わる医師	産婦人科	常勤	兼任(5割未満)	3	日本産婦人科内視鏡学会技術認定医(2007年)
6	身体症状の緩和に携わる医師	泌尿器科	常勤	兼任(5割未満)	3	日本泌尿器科学会指導医(2008年)
7	看護師		常勤	専従(8割以上)	11	緩和ケア認定看護師
8	看護師		常勤	兼任(5割未満)	13	緩和ケア認定看護師
9	看護師		常勤	兼任(5割未満)	9	緩和ケア認定看護師
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

注1) 様式4の1の(1)の④の診療従事者ア～テの回答と齟齬がないようにすること(例: 様式4では身体症状の専任医師が「いる」と回答しているのに、別紙17では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。

注2) 研修医は除くこと。

注3) 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

注4) 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

## 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

平成22年9月1日時点

独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院
-----------------------

	診療科	常勤 /非常勤	専従/専任/ 兼任	病理診断の 経験年数 (年)	専門医等資格
(例)	病理診断科	常勤	専任(5割以上 8割未満)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	病理診断科	常勤	専従(8割以上)	34	日本病理学会認定医(1984年) 日本臨床細胞学会専門医(1987年)
2	病理診断科	常勤	専従(8割以上)	11	日本病理学会認定医(2005年) 日本臨床細胞学会専門医(2005年)
3	病理診断科	常勤	専従(8割以上)	1	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

- 様式4の1の(1)の⑤の診療従事者ア～カの回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では病理診断の専従医師が「いる」と回答しているのに、別紙18では該当する人がいない、といったことはないようにすること)。
- 研修医は除くこと。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

## 地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの 受け入れ件数	他医療機関への 紹介件数
(例)	25	80	90
	321	462	452

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	NTT西日本 大阪病院	0	1
2	OCATクリニック	0	2
3	あさひ診療所	1	0
4	あまさきクリニック	1	1
5	アムスニューオータニクリニック	1	0
6	あらまき整形外科クリニック	1	1
7	いこま内科眼科クリニック	1	0
8	いしだクリニック	1	0
9	いぬいクリニック	1	1
10	いわがきクリニック	1	3
11	うえひら内科クリニック	1	1
12	おおとり診療所	1	0
13	かとう鳳クリニック	0	2
14	かみたにクリニック	1	1
15	ガラシア会 ガラシア病院	0	1
16	かわだクリニック	1	1
17	クボタ堺製造所診療所	1	0
18	クボタ堺臨海工場	1	0
19	くわ総合クリニック	0	1
20	ゲートタワーIGTクリニック	0	7
21	さえきクリニック	2	2
22	しんたに内科クリニック	2	1
23	すわ医院	0	1
24	ダイキン工業(株)金岡診療所	1	0
25	たかぎ歯科・矯正歯科	0	1
26	たけい産婦人科クリニック	1	1
27	たつえ医院	1	0
28	たつみクリニック	1	0
29	たなか内科	1	1
30	つきやま胃腸科内科	0	1

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	つげ内科医院	0	1
2	つるぎ荘診療所	0	1
3	とうじょうクリニック	0	1
4	とのぎ内科クリニック	1	0
5	なかしま内科クリニック	1	1
6	ナカノレディスクリニック	1	0
7	なかもず河田クリニック	1	1
8	にしのクリニック	1	0
9	はつしば山本クリニック	0	1
10	はぶ医院	1	0
11	はやし内科クリニック	1	0
12	はら腎・泌尿器科クリニック	1	0
13	ひまわりクリニック	1	0
14	ペガサスリハビリテーション病院	2	2
15	ベルクリニック	9	0
16	ベルランド総合病院	1	6
17	ぼく泌尿器科 クリニック	0	1
18	ほり泌尿器科クリニック	10	9
19	まつ本内科クリニック	1	0
20	みみはらファミリークリニック	2	3
21	みみはら高砂クリニック	0	3
22	もり耳鼻咽喉科	1	0
23	ヤスタクリニック	0	4
24	よしもと整形外科	1	0
25	りんくう総合医療センター市立泉佐野病院	1	1
26	わたベクリニック	1	0
27	安武医院	1	1
28	臼井内科・消化器科クリニック	1	0
29	唄医院	1	0
30	永木医院	0	1
31	盈進会病院	1	0
32	遠藤クリニック	0	1
33	岡クリニック	4	4
34	岡崎内科	0	1
35	岡室クリニック	2	2
36	岡内科クリニック	0	1
37	岡本内科	2	0
38	屋島総合病院	0	1
39	加藤内科	1	0
40	加藤内科・みなとクリニック	1	0

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1	加藤内科循環器科クリニック	2	2
2	花田医院	4	4
3	賀来医院	1	1
4	柿原クリニック	2	1
5	笠松産婦人科・小児科	1	0
6	櫻本病院	0	1
7	梶川クリニック	1	1
8	梶本クリニック分院	0	1
9	瓦谷クリニック	2	4
10	岸和田徳洲会クリニック	0	1
11	岸和田徳洲会病院	0	3
12	岩佐クリニック	1	0
13	岩佐外科	3	3
14	岩崎医院	1	0
15	岩田医院	0	1
16	岩田記念診療所	1	0
17	岩本診療所	1	0
18	岩本内科クリニック	0	1
19	喜多クリニック	1	1
20	貴田医院	1	3
21	貴朋会 宮本北浜診療所	1	0
22	吉岡クリニック	0	2
23	吉川病院	4	4
24	京都市立病院	1	0
25	京都社会事業財団 京都桂病院	1	0
26	玉井クリニック	0	3
27	玉置医院	0	1
28	近畿大学医学部堺病院	1	0
29	近畿大学医学部附属病院	2	15
30	近畿中央胸部疾患センター	22	40
31	近藤クリニック	1	2
32	金岡中央病院	2	0
33	金岡病院	1	1
34	金澤クリニック	0	1
35	隈病院	0	1
36	結核予防会 大阪府支部相談診療所	1	0
37	光仁幸会 西本産婦人科	1	0
38	厚生会 和知診療所 大阪西クリニック	1	0
39	向野診療所	0	1
40	宏済会 三木内科	1	0
41	弘心会 小杉クリニック本院	1	0
42	恒昭会 青葉丘病院	0	2
43	恒進會病院	1	1
44	江藤内科医院	2	1
45	江本クリニック	20	9
46	荒木産婦人科肛門科	1	0
47	高杉医院	1	0
48	高村医院	0	1
49	高田外科	4	5
50	黒田クリニック	1	1
51	今井はーとクリニック	0	2
52	今井医院	3	0
53	紺屋泌尿器科	3	2
54	佐々木内科	0	1

55	佐藤内科医院	1	0
56	砂川医院	0	1
57	坂本産婦人科診療所	1	0
58	阪堺病院	1	0
59	阪南中央病院	3	4
60	阪和インテリジェント医療センター	4	0
61	阪和第二泉北病院	5	14
62	堺温心会病院	1	1
63	堺近森病院	1	0
64	堺高島屋内診療所	9	3
65	桜橋渡辺病院	0	1
66	三条クリニック	0	1
67	三瀬医院	2	1
68	三善医院	0	1
69	三和会 永山病院	1	0
70	山県クリニック	1	0
71	山戸クリニック	1	0
72	山口クリニック	1	2
73	山口医院	1	0
74	山口泌尿器科	1	1
75	山辻医院	1	0
76	山田内科医院	0	1
77	山尾内科クリニック	1	2
78	山本クリニック	1	0
79	市川クリニック	1	0
80	市立貝塚病院	3	2
81	市立堺病院	10	17
82	市立吹田市民病院	1	0
83	市立藤井寺市民病院	0	1
84	児玉泌尿器科	0	1
85	寺元記念病院	1	0
86	寺山クリニック	2	2
87	耳原総合病院	5	1
88	耳原鳳クリニック	2	0
89	社団法人至誠会産科婦人科	0	1
90	住友病院	2	0
91	小川医院	1	0
92	小野産婦人科・内科 宝生不妊クリニック	1	1
93	小林内科医院	1	1
94	彰療会 大正病院	0	1
95	松原中央病院	0	1
96	松原徳洲会病院	3	3
97	松村内科クリニック	8	1
98	松本内科	1	0
99	松本内科クリニック	0	1
100	松野泌尿器科クリニック	1	0
101	上田診療所	1	3
102	上野内科医院	2	1
103	城山病院	0	1
104	植田クリニック	1	0
105	植木病院	4	2
106	新井内科クリニック	9	8
107	新宮診療所	2	1
108	新金岡豊川総合病院	4	2
109	新日本製鐵株式会社 診療所	1	1
110	新日鐵八幡記念病院	1	0
111	森クリニック	3	0

112	森医院	0	1
113	森口クリニック	1	2
114	森山耳鼻咽喉科	3	0
115	森本医院	2	0
116	真世会 佐井胃腸科肛門科	1	1
117	神元クリニック	2	1
118	神子田医院	0	1
119	辛川医院	0	1
120	杉山クリニック	1	0
121	菅野クリニック	5	6
122	瀬田クリニック大阪	0	2
123	正風病院	1	0
124	清恵会三国丘クリニック	1	0
125	清恵会病院	8	4
126	清水レディースクリニック	4	3
127	清田クリニック	1	0
128	西山医院	1	0
129	西松医院	3	2
130	西谷内科	4	0
131	西田外科	0	1
132	青笹内科クリニック	1	0
133	青木医院	2	0
134	石橋レディス クリニック	1	1
135	石原内科	7	2
136	川口クリニック	1	2
137	川上クリニック	0	1
138	川西外科	1	0
139	浅香山病院	3	3
140	船員保険大阪健康管理センター	1	0
141	村上医院	1	1
142	村木クリニック	1	0
143	多根クリニック	1	0
144	多根記念眼科病院	1	0
145	大阪ガス株式会社 大阪健康管理センター	1	0
146	大阪ガン免疫化学療法センター	0	1
147	大阪がん予防検診センター	0	2
148	大阪プレストクリニック	1	0
149	大阪医療センター	0	1
150	大阪警察病院	1	0
151	大阪市立総合医療センター	0	1
152	大阪市立大学医学部付属病院	2	5
153	大阪赤十字病院	0	1
154	大阪大学医学部付属病院	1	4
155	大阪中央病院	0	1
156	大阪南医療センター	1	0
157	大阪南脳神経外科病院	1	1
158	大阪府済生会吹田病院	1	0
159	大阪府立急性期総合医療センター	9	1
160	大阪府立成人病センター	2	6
161	大阪肛門科診療所	2	1
162	大場内科病院	0	1
163	大織会 大織診療所	2	1
164	大西内科クリニック	2	2
165	大仙病院	2	1
166	大川内科医院	1	0
167	大村内科	1	0
168	大槻レディースクリニック	1	1

169	大田クリニック	1	7
170	大野クリニック	1	0
171	沢井産婦人科	1	0
172	棚橋内科・循環器科	3	1
173	谷口病院	1	2
174	谷和医院	2	2
175	池田産婦人科	1	0
176	竹中医院	0	1
177	中山内科医院	2	0
178	中産婦人科	1	1
179	中西胃腸外科	2	5
180	中川クリニック	1	3
181	中村医院	1	3
182	中村診療所	3	1
183	中尾内科クリニック	0	1
184	中百舌鳥おか内科医院	0	1
185	中平医院	1	0
186	中野医院	0	1
187	中野外科内科医院	1	4
188	朝日会 朝日会病院	1	0
189	長吉総合病院	1	1
190	長居クリニック	0	2
191	長谷川内科	5	0
192	津久野藤井クリニック	1	0
193	津田クリニック	4	4
194	辻野医院	0	1
195	帝国ホテルクリニック	1	0
196	典子エンジェルクリニック	1	0
197	田中医院	1	0
198	田中内科クリニック	3	6
199	田仲はびきのクリニック	0	1
200	田仲北野田病院	0	3
201	田辺医院	1	1
202	都島放射線科クリニック	0	1
203	島田病院	0	1
204	嶋田クリニック	0	1
205	湯川胃腸病院	1	1
206	藤原内科クリニック	0	1
207	藤森クリニック	0	1
208	藤田医院	2	1
209	藤田内科	2	1
210	奈良社会保険病院	0	1
211	奈良友紘会病院	1	0
212	二見クリニック	1	1
213	日生病院	0	1
214	日野クリニック	1	1
215	馬場記念病院	2	5
216	梅山医院	2	0
217	梅田皮膚科	1	0
218	白畠内科	2	0
219	八木クリニック	5	2
220	八木外科	1	0
221	飯田一条通診療所	1	0
222	飯田原山台診療所	1	0
223	尾崎クリニック	2	1
224	尾崎内科	1	0
225	富田林病院	1	0

226	府中病院	1	0
227	福慈クリニック	1	0
228	福島診療所	1	0
229	兵庫医科大学病院	1	1
230	米田クリニック	0	2
231	片上医院	2	0
232	片平内科	0	1
233	母子保健総合医療センター	0	1
234	鳳胃腸病院	1	1
235	鳳総合健診センター	1	0
236	北花田クリニック	0	1
237	北村医院	0	1
238	北野クリニック	1	0
239	北野医院	4	1
240	北野田医療生協 北野田診療所	1	1
241	朴井診療所	0	1
242	堀井医院	1	0
243	末吉内科	2	7
244	明治橋病院	1	1
245	明石医院	0	1
246	野崎レディースクリニック	1	1
247	良秀会 藤井診療所	0	1
248	老人保健施設アイリス堺正風	1	1
249	老木レディス クリニック	1	2
250	和歌山県立医科大学附属病院	0	1
251	高田内科クリニック	1	0

### 地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	開催日	時間 (時間)	名称	対象	開催場所	参加 人数 (人)	内容
(例1)	6/20	2.0	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	7/20	1.5	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
1	8/26	2	かかりつけ医懇談会	二次医療圏内医療機関	大阪労災病院第1会議室	34	がん地域連携クリニカルパスについて
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。							
1							
2							

# 地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

パス整備数	17
登録医療機関数	0
パス適応数	3

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療なし)	40	15	2009/4/5
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療あり)	5	1	2010/2/1
1	胃がん	胃手術後フォローアップ地域連携パス(1年~2年)	0	0	2010/9/15
2	胃がん	胃手術後フォローアップ地域連携パス(2年~3年)	0	0	2010/9/15
3	胃がん	胃手術後フォローアップ地域連携パス(3年~4年)	0	0	2010/9/15
4	胃がん	胃手術後フォローアップ地域連携パス(4年~5年)	0	0	2010/9/15
5	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(術後~6ヶ月)	0	0	2010/9/15
6	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(6ヶ月~1年)	0	0	2010/9/15
7	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(1年~2年)	0	0	2010/9/15
8	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(2年~3年)	0	0	2010/9/15
9	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(3年~4年)	0	0	2010/9/15
10	胃がん	胃術後地域連携補助化学療法パス(4年~5年)	0	0	2010/9/15
11	大腸がん	大腸癌術後フォローアップ連携パス	0	0	2010/9/15
12	大腸がん	大腸癌術後補助化学療法UFT-LV連携パス	0	0	2010/9/15
13	大腸がん	大腸癌術後補助化学療法ゼロダ連携パス	0	0	2010/9/15
14	乳がん	乳がん術後連携パス	0	0	2010/9/15
15	肺がん	肺がん放射線治療後連携パス	0	0	2010/9/15
16	前立腺がん	前立腺がん地域連携パス	0	3	2009/4/1
17	肝がん	肝がん連携パス	0	0	2009/6/1
18					

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					

我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、  
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による  
セカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	はい
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	はい
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	はい
5	上記の内容を掲載しているページのURL	<a href="http://www.orh.go.jp">http://www.orh.go.jp</a>

我が国に多いがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例) 肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	呼吸器外来	1	肺がん
胃がん	対応可	なし	消化器内科 外科	2 2	消化器 消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手術
大腸がん	対応可	あり	外科	2	消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手術

肝がん	対応可	あり	消化器内科 外科	2 2	消化器 消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手術
乳がん	対応可	あり	外科	1	内分泌外科(乳腺、 甲状腺)

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
脳腫瘍	対応不可	なし		0	
脊髄腫瘍	対応不可	なし		0	
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし		0	
頭頸部がん	対応不可	なし		0	
甲状腺がん	対応不可	なし		0	
食道がん	対応可	なし	外科	2	消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手術
縦隔腫瘍	対応不可	なし		0	
中皮腫	対応不可	なし		0	

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況  (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績  ※平成21年1月 1日から12月31 日  (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師  ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
膵がん	対応可	なし	外科	2	消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手 術
胆道がん	対応可	あり	外科	2	消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手 術
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科	2	消化器・一般外科 (大腸)、腹腔鏡手 術
腎がん	対応可	あり	泌尿器科	3	泌尿器科一般
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	3	泌尿器科一般
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	3	泌尿器科一般
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	3	泌尿器科一般
前立腺がん	対応可	あり	泌尿器科	3	泌尿器科一般
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科	3	泌尿器科一般
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	3	泌尿器科一般

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
子宮がん	対応可	あり	産婦人科	1	産婦人科内視鏡手術、婦人科腫瘍、周産期
卵巣がん	対応可	あり	産婦人科	1	産婦人科内視鏡手術、婦人科腫瘍、周産期
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	産婦人科	1	産婦人科内視鏡手術、婦人科腫瘍、周産期
皮膚腫瘍	対応不可	なし		0	
悪性骨軟部腫瘍	対応不可	なし		0	
血液腫瘍	対応不可	なし		0	
小児固形腫瘍	対応不可	なし		0	
小児血液腫瘍	対応不可	なし		0	
原発不明がん	対応不可	なし		0	
性腺外胚細胞腫瘍	対応不可	なし		0	
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応不可	なし		0	

我が国に多いがん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況  (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績  ※平成21年1月 1日から12月31 日  (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
疾患名:				0	
疾患名:				0	
疾患名:				0	

各治療	セカンドオピニ オンの対応状況  (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績  ※平成21年1月 1日から12月31 日  (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
化学療法	対応不可	なし		0	
放射線療法	対応可	なし	放射線治療科	1	頭頸部癌、婦人科 癌
緩和ケア	対応不可	なし		0	

## セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

実施方法	その他	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合	メディカルサポートセンターで対応	
セカンドオピニンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	サポートセンターセカンドオピニオン担当	
電話番号	072-255-8076	
FAX番号	072-255-8203	
e-mail	なし	
対応時間	8:15~17:00	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	30分まで 5250円	
超過料金	30分につき 5250円	
その他の料金 (詳細と金額)	病理診断料 4305円 コンピュータ撮影判断料 4725円	
相談時間の制限	なし	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		分

## がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数 1

名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援センター職員の関与の有無
(例) 乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例) 患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1 談話コーナー	連日8:30-17:00	メディカルサポートセンター	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
2					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

## 別途定める「プログラム」に準拠したがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会の開催状況及び開催予定

期間 平成21年11月1日 ～ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数 1

	開催済/ 開催予定	開催日	時間	名称	開催場所	種類	参加 人数 (人)	内容
(例)	開催済	7/5	2日	〇〇病院がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	40	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
1	開催済	8/21	2	大阪労災病院緩和ケア研修会	大阪労災病院	講義＋ワークショップ	21	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※平成22年9月1日～10月31日に開催予定の研修会を以下に記入してください。

1								
2								

注) 別途定める「プログラム」とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことです。

注2) 前年度の実績に記載した研修会は重複記載不可。

## 地域の医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	4/12	120分	胃X線読影研修会	二次医療圏内医師	XX病院会議室	講義	25	XX病院放射線科医師による早期胃がん胃X線画像読影のポイントに関する研修
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1	2009/9/17	60	がん治療セミナー	二次医療圏内医師	大阪労災病院第2会議室	講義＋ワークショップ	6	前立腺がんを早期に診断するために《PSA測定の意義と地域連携パスの運用にむけて》
2								

## 地域の医師等を対象としたその他の緩和ケアに関する研修の実施状況

期間 平成22年4月1日 ～ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数 1

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/14	120分	* * 地域緩和ケア勉強会	二次医療圏内医師	〇〇病院	講義	80	「WHOの疼痛管理について」XX病院++医師によるセミナー
(例)	4/27	5日	〇〇病院緩和ケアチーム研修	二次医療圏内の医師及び看護師	〇〇病院	実習	3	緩和ケアチームの診療に同席し、ベッドサイドで、緩和ケアチームのメンバーが習得すべき知識や技術について学ぶ。
1	4/26	120	がん治療セミナー	二次医療圏内医師	大阪労災病院	講義	70	がん告知による不安・落ち込み等の相談事例に対し「伝え方」や「その後のサポート」についての検討会
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1								
2								

## 診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスの実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数 1

	開催日	時間 (分)	名称	対象	開催場所	参加 人数 (人)	内容
(例)	4/20	120	××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	50	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

※平成22年4月1日～8月31日に実績がなく、それ以外の期間で実施している場合には、以下に2つまで記入してください。

1	2010/1/28	120	南大阪消化器カンファレンス	二次医療圏内医師	大阪労災病院大ホール	30	症例検討
2							

放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア等の複数の専門的な分野を  
横断的に実地研修することを内容に含む1年以上の研修プログラム

期間 平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日に開始される研修)

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数

	プログラム名称	期間 (カ月)	対象	受け入れ 人数 (人)	内容
(例)	××病院レジデントプログラム	12	臨床研修終了者卒業後8年目まで	5	1年間で専門領域の他、病理診断、放射線療法、化学療法、手術療法、緩和ケア部門をローテーションする。
1	※後期研修終了後、大学プログラム(大阪大学)に移行するため当院では有しない				
2					
3					
4					
5					

## 相談支援センターで提供している情報

期間 平成22年9月1日現在

病院 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

## 1. 医療機関の関する情報提供について

		自施設	※はいの場合は 右の欄に 施設数を記入 してください	他施設	
				がん診療連携 拠点病院の 施設数	がん診療連携 拠点病院以外 の 施設数
1	初診までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい		43
2	入院までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい		43
3	がんの緩和ケアに対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	36	16
4-ア	緩和ケア病棟のある施設について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	1	12
4-イ	上記4-アの病院の入院までの待ち期間について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい		43
5	実施中のがんに関連する臨床試験、治験の内容について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	4	
6	がん検診を実施状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	3	570
7	子宮頸がんのワクチン接種に対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	3	972
8	がんに関する先進医療を実施状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	7	
9	アスベストによる肺がんおよび中皮腫への対応状況について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	9	32
10	在宅療養の支援に対応しているかどうかについて、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	36	

## 2. 医師に関する情報提供について

		自施設	※はいの場合は 右の欄に 施設数を記入 してください	他施設	
				がん診療連携 拠点病院の 施設数	がん診療連携 拠点病院以外 の 施設数
1-ア	がんの手術にあたる主な執刀医の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	14	
1-イ	上記1-アの医師の専門としている分野について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	14	
2-ア	化学療法を専門としている医師の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	4	9
2-イ	上記2-アの医師の専門としている分野について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	4	9
3	放射線療法を専門としている医師の情報について、自施設または他施設の情報を提供できる	はい	はい	6	18

## 相談支援センターで提供しているがん種別の情報

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	がんの対応状況とその治療内容について調査に基づき作成した資料がある		がんの手術件数について調査に基づき作成した資料がある		セカンドオピニオンの提示が可能な医師について調査に基づき作成した資料がある	
	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について
肺がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
胃がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
大腸がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
肝がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
乳がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
脳腫瘍	はい	はい	はい	はい	はい	はい
脊髄腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
眼、眼窩腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
頭頸部がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
甲状腺がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
食道がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
縦隔腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
中皮腫	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
膵がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
胆道がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
十二指腸・小腸がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
腎がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
膀胱がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
副腎腫瘍	はい	はい	はい	はい	はい	はい
尿路がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
前立腺がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
精巣がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
その他の男性生殖器がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい

	がんの対応状況とその治療内容について調査に基づき作成した資料がある		がんの手術件数について調査に基づき作成した資料がある		セカンドオピニオンの提示が可能な医師について調査に基づき作成した資料がある	
	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について	他のがん診療連携拠点病院について	左記以外の医療機関について
子宮がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
卵巣がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
その他の女性生殖器がん	はい	はい	はい	はい	はい	はい
皮膚腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
悪性骨軟部腫瘍	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
血液腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
小児固形腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
小児血液腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
原発不明がん	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
性腺外胚細胞腫瘍	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
GIST	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
疾患名1:						
疾患名2:						
疾患名3:						
疾患名4:						
疾患名5:						

## 相談支援センターの相談件数と相談支援内容

病院 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

### 1. 相談件数について(平成22年6月1日 ~ 平成22年7月31日の相談件数)

		対面相談	電話相談	FAX相談	E-mail相談	計
1	自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族	49	5	0	0	54
2	自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方など	6	19	0	2	27
3	合計	55	24	0	2	81

### 2. 相談支援の内容について(平成22年9月1日現在)

※相談支援センターで最も力を注いでいる相談支援の内容について下記に5つあげてください。  
「がん情報サービス」の貴院の相談支援センターの紹介欄で主な相談内容として掲載する予定です。

	相談支援内容	総業務時間に対する割合 (%)
例	がんの診療を行っている医療機関の紹介 (70施設を対象に調査を行い、その資料をもとに医療機関の情報を提供しています。)	20
1	緩和ケアを受けられる施設の紹介、在宅緩和ケアの支援体制紹介	20
2	各認定看護師による専門的な相談業務(療養上の相談、意思決定支援)	20
3	セカンドオピニオンを積極的に受け入れている(対象疾患の拡大)	20
4	がん診療に関する一般情報の提供	20
5	地域の医療機関、医療従事者との連携協力体制の構築	20

### 2. 自院の受診の説明や後方連携支援の現状について(平成22年9月1日現在)

1	相談支援センターが医療連携室の業務を兼ねている	はい
2-ア	相談支援センターの業務として自施設を受診までの流れや予約方法などについて説明を行っている	はい
2-イ	上記2-アの業務を行っている場合、その業務の総業務時間に対する割合(%)を記入してください	5
3-ア	相談支援センターの業務として自施設の患者さんのための後方連携(退院調整、転院先の紹介など)を行っている	はい
3-イ	上記3-アの業務を行っている場合、その業務の総業務時間に対する割合(%)を記入してください	70

## 相談支援センターにおける相談支援の実績

期間 平成22年4月1日 ~ 7月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数 171

※4月1日より7月31日までに実施された相談の記録を記入。4月1日分より開始し、100件分まで、記載。  
100件を越える場合、件数は、7月31日までの件数を記載すること。

	日付	主な相談者	対応した相談員の職種	相談方法	相談に応じた時間(分)	相談の内容 (主たるものを記入)	対応の内容 (主たるものを記入)
(例)	4/1	患者本人	ソーシャルワーカー	Email相談	120	医療機関の紹介	情報提供
1	4/1	家族・親戚	看護師	対面相談	20	不安・精神的苦痛	助言・提案
2	4/1	患者本人	看護師	対面相談	15	患者会・家族会(ピア情報)	情報提供
3	4/5	患者本人	看護師	対面相談	40	症状・副作用・後遺症	情報提供
4	4/5	患者本人	看護師	対面相談	20	その他	情報提供
5	4/6	家族・親戚	看護師	電話相談	20	がんの治療	情報提供
6	4/6	患者本人	看護師	対面相談	30	セカンドオピニオン(一般)	助言・提案
7	4/6	家族・親戚	看護師	対面相談	15	在宅医療	情報提供
8	4/6	患者本人	看護師	対面相談	15	告知	傾聴・語りの促進・支持的な対応
9	4/6	患者本人	看護師	対面相談	10	ホスピス・緩和ケア	その他
10	4/8	患者本人	看護師	電話相談	10	ホスピス・緩和ケア	情報提供
11	4/12	患者本人	看護師	対面相談	50	セカンドオピニオン(他へ紹介)	助言・提案
12	4/12	患者本人	看護師	対面相談	50	転院	情報提供
13	4/12	患者本人	看護師	電話相談	10	症状・副作用・後遺症	自施設受診の説明
14	4/12	患者本人	看護師	対面相談	25	医療者との関係・コミュニケーション	助言・提案
15	4/13	患者本人	看護師	対面相談	30	セカンドオピニオン(他へ紹介)	他施設への連携
16	4/13	患者本人	看護師	対面相談	15	その他	傾聴・語りの促進・支持的な対応
17	4/13	患者本人	看護師	対面相談	20	医療者との関係・コミュニケーション	傾聴・語りの促進・支持的な対応
18	4/13	患者本人	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
19	4/14	患者本人	看護師	対面相談	10	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
20	4/15	家族・親戚	看護師	電話相談	20	ホスピス・緩和ケア	自施設他部門への連携
21	4/15	患者本人	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
22	4/19	患者本人	看護師	対面相談	30	症状・副作用・後遺症	助言・提案
23	4/19	患者本人	看護師	対面相談	75	症状・副作用・後遺症	助言・提案

	日付	主な 相談者	対応した 相談員の職種	相談方法	相談に応じ た時間 (分)	相談の内容	対応の内容
24	4/20	患者本人	看護師	電話相談	15	セカンドオピニオン(受入)	自施設他部門への連携
25	4/20	患者本人	看護師	対面相談	40	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
26	4/21	家族・親戚	看護師	対面相談	10	ホスピス・緩和ケア	情報提供
27	4/21	患者本人	看護師	Email相談	10	がんの治療	助言・提案
28	4/22	患者本人	看護師	対面相談	10	その他	情報提供
29	4/22	患者本人	看護師	対面相談	10	がんの治療	情報提供
30	4/22	患者本人	看護師	対面相談	30	がんの治療	情報提供
31	4/26	患者本人	看護師	電話相談	5	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
32	4/27	患者本人	看護師	電話相談	5	症状・副作用・後遺症	情報提供
33	4/30	患者本人	看護師	対面相談	20	不安・精神的苦痛	助言・提案
34	4/30	患者本人	看護師	対面相談	20	不安・精神的苦痛	助言・提案
35	5/6	患者本人	看護師	対面相談	30	症状・副作用・後遺症	情報提供
36	5/6	患者本人	看護師	電話相談	5	セカンドオピニオン(他へ紹介)	情報提供
37	5/6	患者本人	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
38	5/6	家族・親戚	看護師	電話相談	5	受診方法・入院	情報提供
39	5/7	患者本人	看護師	対面相談	40	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
40	5/10	家族・親戚	看護師	電話相談	10	介護・看護・養育	傾聴・語りの促進・支持的な対応
41	5/10	不明	看護師	電話相談	5	ホスピス・緩和ケア	情報提供
42	5/10	患者本人	看護師	対面相談	30	がんの治療	情報提供
43	5/11	患者本人	看護師	対面相談	15	ホスピス・緩和ケア	情報提供
44	5/11	患者本人	看護師	対面相談	30	がんの治療	情報提供
45	5/11	家族・親戚	看護師	対面相談	30	ホスピス・緩和ケア	情報提供
46	5/13	患者本人	看護師	対面相談	25	患者一家族間の関係・コミュニケーション	傾聴・語りの促進・支持的な対応
47	5/13	家族・親戚	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	助言・提案
48	5/13	患者本人	看護師	対面相談	15	がんの検査	情報提供
49	5/13	家族・親戚	看護師	対面相談	30	在宅医療	助言・提案
50	5/14	家族・親戚	看護師	対面相談	15	受診方法・入院	情報提供
51	5/14	家族・親戚	看護師	対面相談	5	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
52	5/17	家族・親戚	看護師	電話相談	15	不安・精神的苦痛	助言・提案
53	5/18	医療関係者	看護師	電話相談	5	セカンドオピニオン(一般)	情報提供

	日付	主な 相談者	対応した 相談員の職種	相談方法	相談に応じ た時間 (分)	相談の内容	対応の内容
54	5/18	家族・親戚	看護師	電話相談	10	ホスピス・緩和ケア	情報提供
55	5/19	患者本人	看護師	電話相談	10	がんの治療	情報提供
56	5/19	家族・親戚	看護師	電話相談	5	セカンドオピニオン(一般)	他施設受診の説明
57	5/19	患者本人	看護師	電話相談	15	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
58	5/20	家族・親戚	看護師	対面相談	30	ホスピス・緩和ケア	情報提供
59	5/20	友人	看護師	対面相談	10	セカンドオピニオン(一般)	助言・提案
60	5/21	患者本人	看護師	対面相談	15	医療費・生活費・社会保障制度	助言・提案
61	5/21	家族・親戚	看護師	対面相談	40	ホスピス・緩和ケア	情報提供
62	5/21	患者本人	看護師	電話相談	5	がんの検査	情報提供
63	5/21	患者本人	看護師	電話相談	40	がんの治療	情報提供
64	5/27	家族・親戚	看護師	対面相談	15	治療実績	助言・提案
65	5/27	患者本人	看護師	電話相談	15	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
66	5/28	患者本人	看護師	電話相談	90	症状・副作用・後遺症への対応	助言・提案
67	6/1	患者本人	看護師	対面相談	30	ホスピス・緩和ケア	傾聴・語りの促進・支持的な対応
68	6/4	家族・親戚	看護師	電話相談	20	がんの治療	情報提供
69	6/4	患者本人	看護師	対面相談	40	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
70	6/4	患者本人	看護師	対面相談	40	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
71	6/7	患者本人	看護師	Email相談	20	がんの治療	情報提供
72	6/7	家族・親戚	看護師	電話相談	10	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
73	6/7	家族・親戚	看護師	対面相談	30	がんの治療	助言・提案
74	6/7	家族・親戚	看護師	電話相談	15	転院	自施設受診の説明
75	6/9	家族・親戚	看護師	対面相談	30	セカンドオピニオン(受入)	助言・提案
76	6/11	患者本人	看護師	電話相談	10	症状・副作用・後遺症	情報提供
77	6/11	患者本人	看護師	対面相談	80	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
78	6/11	患者本人	看護師	対面相談	80	症状・副作用・後遺症への対応	情報提供
79	6/14	医療関係者	看護師	電話相談	10	セカンドオピニオン(受入)	情報提供
80	6/14	患者本人	看護師	対面相談	15	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
81	6/16	患者本人	看護師	対面相談	15	その他	傾聴・語りの促進・支持的な対応
82	6/17	患者本人	看護師	対面相談	30	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
83	6/17	患者本人	看護師	対面相談	10	がんの検査	情報提供

	日付	主な相談者	対応した相談員の職種	相談方法	相談に応じた時間(分)	相談の内容	対応の内容
84	6/21	患者本人	看護師	対面相談	35	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
85	6/22	患者本人	看護師	電話相談	20	セカンドオピニオン(一般)	情報提供
86	6/23	患者本人	看護師	電話相談	10	受診方法・入院	情報提供
87	6/24	患者本人	看護師	対面相談	30	症状・副作用・後遺症	傾聴・語りの促進・支持的な対応
88	6/24	家族・親戚	看護師	電話相談	15	がんの治療	情報提供
89	6/24	患者本人	看護師	対面相談	10	がんの検査	情報提供
90	6/25	患者本人	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	傾聴・語りの促進・支持的な対応
91	6/25	家族・親戚	看護師	対面相談	20	ホスピス・緩和ケア	情報提供
92	6/25	不明	看護師	電話相談	10	症状・副作用・後遺症への対応	傾聴・語りの促進・支持的な対応
93	6/28	不明	看護師	Email相談	10	がんの治療	情報提供
94	6/28	患者本人	看護師	対面相談	20	がんの治療	情報提供
95	6/28	患者本人	看護師	対面相談	45	ホスピス・緩和ケア	傾聴・語りの促進・支持的な対応
96	6/28	家族・親戚	看護師	対面相談	45	ホスピス・緩和ケア	傾聴・語りの促進・支持的な対応
97	6/28	患者本人	看護師	対面相談	15	ホスピス・緩和ケア	情報提供
98	6/29	家族・親戚	看護師	電話相談	10	転院	自施設受診の説明
99	6/29	患者本人	看護師	対面相談	70	補完代替療法	傾聴・語りの促進・支持的な対応
100	7/1	患者本人	看護師	対面相談	10	不安・精神的苦痛	自施設他部門への連携

注) 記載に当たっては、個人が特定される情報は記載しないでください。

## 相談支援センターの相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

相談支援センターの名称	なんでも相談室		
相談支援センターの電話番号			
問い合わせ先電話番号	072-252-3561		
電話相談の電話番号			上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援センターが独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	独立している		例: 医療連携室
相談支援センターの対応曜日と対応時間			
対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00		
対面相談の対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00		上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間	月～金 9:00～17:00		上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	必要		(必要、不要)
時間制限の有無	あり		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	60		
電話相談の実施	実施		(実施、未実施)
予約の要否	必要		(必要、不要)
時間制限の有無	あり		(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	60		
FAX相談の実施	実施		(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号	072-255-8203		
e-mail相談の実施	実施		(実施、未実施)
email相談のためのe-mail	nandemo@orh.go.jp		
相談員の職種	看護師		
ピアサポート提供の有無	なし		(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください			※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット		例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)			100 ※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	可		(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	あり		(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数			19

## 相談支援センターの体制

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	主な役割	職種	常勤/ 非常勤	専従/専任/ 兼任	相談業務の 経験年数 (年)	相談員基礎研修 会 (1)	相談員基礎研修 会 (2)	相談員基礎研修 会 (3)
(例)	相談	看護師	常勤	専従(8割以上)	2	2007年11月09日 東京	2009年02月26-27日 東京	2010年08月28-29日 兵庫
(例)	相談	社会福祉士	常勤	専任(5割以上 8割未満)	4	2010年04月26-27日 東京	2010年06月01-03日 東京	未受講
1	相談	医療ソーシャル ワーカー(上記以 外)	常勤	専従(8割以 上)	14	2008年04月22日 大阪	2008年06月11-13日 東京	2008年10月02-03日 札幌
2	相談	看護師	常勤	専従(8割以 上)	3	2008年04月22日 大阪	2009年06月02-04日 東京	2009年09月28-29日 東京
3	相談	看護師	常勤	兼任(5割未 満)	2	2009年06月01-02日 東京	2009年06月02-04日 東京	未受講
4	相談	看護師	常勤	兼任(5割未 満)	3	2007年11月09日 東京	2008年06月11-13日 東京	未受講
5	相談	医療ソーシャル ワーカー(上記以 外)	常勤	兼任(5割未 満)	3	2009年02月25日 東京	2009年02月26-27日 東京	2010年08月28-29日 兵庫
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

※がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」(平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知)に基づき、平成22年10月31日の申請時まで、国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了・受講した相談員及を配置する必要がある。具体的には、相談支援センターの相談員のうち1名は「相談員基礎研修(2)」まで修了し、もう1名は「相談員基礎研修(3)」まで修了していることが求められている。

- 様式4の3の(1)の④・⑤の回答と齟齬がないようにすること(例:様式4では相談員基礎研修会(1)、(2)の修了者が「いる」と回答して、別紙28では該当する人がいない)。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

# 相談支援センターの状況

病院名 **独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院**

相談支援センターの様子がわかる写真・資料を貼付すること。

※相談支援センターに親しみを持てるような面談室の様子や相談員など写真や、ポスターやちらしなどを貼付すること。  
このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙36とした電子ファイル、別添資料を提出すること。  
各写真については、「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄に掲載する予定。

**なんでも相談室**

不安や気がかりなことがありましたら、私達にお話を聞かせてください。  
一緒に考え、解決に向けて支援させていただきます。

＜医療福祉相談＞  
医療費の公的負担制度について  
転院のための施設や福祉制度について  
退院後の生活について など  
担当：医療相談員

＜医療安全相談＞  
医療に関わる患者さんからのご質問、ご意見や苦情について  
担当：医療安全相談指導者 仲澤妙美

＜がん相談窓口＞  
がんに関わる様々な相談について  
(例) 緩和ケアについて知りたい  
緩和ケアって何？  
緩和は、どこにあるの？  
がんと言われて不安で自分の病気について知りたい など  
担当：緩和ケア認定看護師 松延さゆり、岸部政代  
乳がん看護認定看護師 濱沢智美  
がん化学療法認定看護師 平本愛  
看護相談室看護師・医療相談員

**完全予約制**  
詳しくは窓口まで  
相談時間：月～金  
9:00～17:00

**緩和ケアは治療と同時にあなたを支援します(〇)**  
当院には「緩和ケア」があります。  
つらい症状があるときは「緩和ケア」にいつでもご相談下さい  
当院の緩和ケアの相談窓口は「**がん相談窓口**」です

＜看護相談＞  
介護や医療処置の方法について、苦痛や不安について、  
病気や治療上の説明に対し、ご不明な点について  
その他、認知症やご家族の不安やストレスについて など  
担当：認知症看護認定看護師 後藤麻衣子  
看護相談室看護師  
その他 専門看護師・認定看護師

場所 西館1階アミューズホール2F  
対応時間 月～金曜日 8:15～17:00

**大阪労災病院**

**がん相談窓口のご案内**

看護師と医療相談員が**無料**でお受け  
いたしております。  
ご本人、ご家族、地域のみならず  
どなたでもお気軽にお越しください。

緩和ケアって何？  
ホスピスは  
どこにあるの？

がんと言われて  
不安で・・・  
自分の病気について  
知りたい

セカンドオピニオン  
について知りたい


相談時間：月～金 9:00～17:00  
(祝日・年末・年始を除く)

相談窓口：西館1階アミューズホール2F  
相談方法：面談または電話相談

**完全予約制**をとっております。  
詳しくは窓口ご連絡ください。

TEL 072-252-3561

図書コーナーも  
ありますので  
ご利用ください




## 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

	連携しているがん患者団体名	具体的な連携協力の内容
(例)	XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。
1	大阪がん医療の向上をめざす会、他18団体	各患者団体との意見交換会を実施
2	卵巣がん体験者の会スマイリー	意見交換、閲覧用冊子の設置
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

## がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

### 1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	なんでも相談室
	電話	072-252-3561(代)、072-255-8076
	FAX	072-255-8203
	電子メール	nandemo@orh.go.jp
	受付時間	8:15~17:00
	ホームページの URL	
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	なんでも相談室
	電話	072-252-3561(代)、072-255-8076
	FAX	072-255-8203
	電子メール	nandemo@orh.go.jp
	受付時間	8:15~17:00
	ホームページの URL	

### 2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんや ご家族向けの 問い合わせ窓口	窓口名	がん相談窓口
	電話	072-252-3561
	FAX	072-255-8203
	電子メール	nandemo@orh.go.jp
	受付時間	9:00~17:00
	ホームページの URL	
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの 問い合わせ窓口	窓口名	がん相談窓口
	電話	072-252-3561
	FAX	072-255-8203
	電子メール	nandemo@orh.go.jp
	受付時間	9:00~17:00
	ホームページの URL	

## 3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

## 4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
2) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

## ■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

### 1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		はい
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		はい
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	メディカルサポートセンター地域連携室
	電話	072-255-8076
	FAX	072-255-8203
	電子メール	nandemo@orh.go.jp
	受付時間	8:30~17:00
	ホームページのURL	

### 2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

## 3. その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

4)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1) 自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2) 自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3) 自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

## 院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

2006年度版修正版項目

◆ : 必須項目

● : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入してください。

大項目	項目番号	項目名	必須／標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆ ●	○	
	20	重複番号	●	○	
	40	氏名	◆ ●	○	
	50	性別	◆ ●	○	
	60	生年月日	◆ ●	○	
診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○	
	100	診断時住所(詳細)	●	○	
	101	診断時住所(市区町村)	◆	○	
	110	当該腫瘍初診日	●	○	
	130	診断日1(他施設診断日)	●	○	
	140	診断日2(自施設診断日)	●	○	
	141	診断日	◆	○	
	150	来院経路	●	○	
	152	発見経緯	●	○	
	153	来院・発見の経緯	◆	○	
	160	診断区分(診断結果)	●	○	
	161	診断施設	●	○	
	170	治療方針	●	○	
	180	症例区分	●	○	
182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○		
腫瘍情報	200	診断名コード	◆ ●	○	
	210	診断名テキスト	◆ ●	○	
	220	部位の側性	●	○	
	230	治療前	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○
	231		治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○
	232		ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○
	240		TNM分類(UICC)T分類	●(5部位)	○
	250		TNM分類(UICC)N分類		○
	260		TNM分類(UICC)M分類		○
	270	術後病理学的	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○
	280		pTNM分類(UICC)pT分類	●(5部位)	○
	290		pTNM分類(UICC)pN分類		○
300	pTNM分類(UICC)pM分類		○		

腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○	
	320	進展度(術後病理学的)	●	○	
	330	組織診断名コード	◆●	○	
	340	組織診断名テキスト	◆●	○	
	350	診断根拠	●	○	
	351	病理組織標本由来	●	○	
	352	診断に寄与した検査	◆	○	
	460	外科的・内視鏡的・体腔鏡的治療	外科的治療の有無	◆●	○
	480		体腔鏡的治療の有無	◆●	○
	500		内視鏡的治療の有無	◆●	○
	520		外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
	530	入院日(初回治療)	●	○	
	550	その他の治療	放射線治療	◆●	○
	560		化学療法	◆●	○
	570		免疫療法・BRM	●	○
	580		内分泌療法	●	○
590	TAE		●	○	
600	PEIT		●	○	
610	温熱療法		●	○	
620	レーザー等治療(焼灼)		●	○	
629	その他の治療	●	○		
予後情報	640	生存最終確認日	◆●	○	
	650	死亡日	◆●	○	
	660	予後調査結果	●	○	
	720	予後調査方法	●	○	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	○	

※ 項目の定義については、  
「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること  
[http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer\\_registration/registration01.html](http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html)

## 診療情報管理部門の体制

期間 平成22年10月31日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

※「診療情報(診療録)管理部門」と「院内がん登録部門」のスタッフを記載してください。

	資格	診療情報管理業務の経験年数(年)	院内がん登録業務の経験年数(年)	常勤/非常勤	院内がん登録業務についての専従/専任/兼任	がん対策情報センターによる初級者研修の修了状況	
						修了の有無	修了年月日(修了証の日付)、または、修了予定日(平成22年10月28日 または10月29日)
(例)	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	あり	平成21年11月1日
(例)	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	なし	平成22年10月29日修了予定
1	診療情報管理士	4	4	非常勤	専従(8割以上)	あり	2010/3/31
2	診療情報管理士	5	2	非常勤	兼任(5割未満)	なし	
3	診療情報管理士	35	6	常勤	兼任(5割未満)	あり	2008/3/31
4	なし	2	2	非常勤	専任(5割以上8割未満)	あり	2010/7/20
5	なし	0	0	非常勤	専従(8割以上)	なし	
6	なし	2	2	常勤	兼任(5割未満)	あり	2010/7/20
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

注)がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」(平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知)に基づき、平成22年10月31日の申請時までに、国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了・受講したがん登録実務者を配置する必要がある。がん登録実務者については「院内がん登録初級者研修」を修了していることが求められている。

○ 様式4の3の(2)の②の回答と齟齬がないようにすること(例:様式4ではがん対策情報センターによる研修を修了した専任の者が「いる」と回答して、別紙28では該当する人がいない)。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

## 患者・市民を対象としたがんに関する市民講演会の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数

	開催日	時間 (分)	名称	開催場所	種類	講師(人)		参加 人数 (人)	内容
						院内	院外		
(例)	4/26	150	** 病院がん市民講演会	〇〇市民ホール	セミナー	1	2	200	科学的根拠に基づくがん検診について
1	11/20	120	がん治療市民フォーラム2010がんは怖くない-ここまで進んだがん治療-(予定)	サンスクエア堺B棟ホール	講演	3	1	200	『大腸がんの抗がん剤治療について』『早期胃癌に対する腹腔鏡下手術』『卵巣がんの診断と治療』『通院で行う化学療法について』
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

## 地域住民へのメッセージ

### 病院名

独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

※本別紙は、他の推薦様式の情報とともに、がん情報サービスのがん診療連携拠点病院のページに掲載することを目的としています。

各項目200字以内で記載してください。

### がん診療連携拠点病院としてのメッセージ

記入例: 当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「がん診療連携拠点病院」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めております。

当院はがん患者さんとその家族に対し、病気の診断や治療方針について、充分納得されるまで説明を行い、患者さんの協力を得ながら最善の治療を提供することを目指します。

### 相談支援センターからのメッセージ

記入例: 医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話をお伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介しますことができます。

当院はメディカルサポートセンター内にがん相談窓口を設置し、がんについて様々な相談に対応しています。がん関連の専門・認定看護師が多数在籍し、必要に応じて栄養士、理学療法士にも協力を依頼しています。また相談については患者さんに限らず、ご家族からの相談もお受けしています。また談話コーナーではがんに関する図書やパンフレットを多数取りそろえ、コンピューターも活用しながら幅広い情報を提供しています。

### 緩和ケアチームからのメッセージ

記入例: 緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。

当院の緩和ケアチームは、疼痛コントロールには麻酔科医が、精神的およびこころのサポートには精神科医および認定看護師が参加し、薬剤師、理学療法士と共に患者さんを訪問し、担当医と相談しながら病状に応じた適切な医療を提供しています。

### 緩和ケア病棟(設置されている場合)からのメッセージ

記入例: 緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。

### 放射線療法部門の名称・組織

期間 平成22年9月1日時点

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

放射線療法部門の名称

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ提出してください

	職種 (部門長 には◎)	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の 経験年数 (年)	専門医等資格 ※1人につき関連するもの 3つまで記入してください
(例)	◎医師	放射線治療科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

## 放射線療法部門の体制

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ貼付してください。

### 組織図貼付

※組織内での位置づけが確認できる組織図を貼付貼付してください。

### 化学療法部門の名称・組織

期間 平成22年9月1日現在

病院名

化学療法部門の名称

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ提出してください

	職種 (部門長 には◎)	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/兼任	対象領域の 経験年数 (年)	専門医等資格 ※1人につき関連するもの 3つまで記入してください
(例)	◎医師(部長)	血液内科	常勤	専従(8割以上)	20	〇〇学会認定医(2002年) 同 専門医(2006年)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

## 化学療法部門の体制

期間 平成22年9月1日現在

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

※特定機能病院または都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ貼付してください。

### 組織図貼付

※組織内での位置づけが確認できる組織図を貼付貼付してください。

### 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院等の医師等に対する高度のがん医療に関する研修の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数

※特定機能病院である場合のみ記入してください。

	開催日	日数	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/10	120分	最新化学療法勉強会	拠点病院医師	〇〇病院	セミナー	80	今年度のASCOの発表から新たな標準治療を紹介する。
(例)	6/17	2日	コミュニケーションスキルトレーニング	拠点病院の医療スタッフ	〇〇病院	セミナー+ワークショップ	20	円滑なコミュニケーションを図るためのスキルを取得する講義、実習。
1	/							
2	/							
3	/							
4	/							
5	/							
6	/							
7	/							
8	/							
9	/							
10	/							

### 主に地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施の実施状況

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

件数

※都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ記入してください。

	開催日	日数	名称	対象	開催場所	種類	参加人数(人)	内容
(例)	7/14	5日	〇〇病院化学療法チーム研修	拠点病院の医師、看護師および薬剤師	〇〇病院	実習	3	外来化学療法に関する知識、技術、システム運用について、医師、看護師、薬剤師の役割を含めて、実地研修を通して、習得する。
1	/							
2	/							
3	/							
4	/							
5	/							
6	/							
7	/							
8	/							
9	/							
10	/							

### 都道府県がん診療連携協議会の開催記録

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日

病院名 独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院

開催数           回

※都道府県がん診療連携拠点病院である場合のみ記入してください。

	開催日	時間 (分)	名称	開催場所	参加 施設数 (施設)	参加 人数 (人)	内容 (病理診断、緩和ケア、放射線治療、相談 支援、院内がん登録などの別)
(例)	×/△	120分	** 県がん診療連携協議会	〇〇病院	6	12	県内医療情報の収集について
(例)	×/△	1日	緩和ケア部会	〇〇病院	6	12	緩和ケア研修会の年間の開催計画について
1	/						
2	/						
3	/						
4	/						
5	/						
6	/						
7	/						
8	/						
9	/						
10	/						
11	/						
12	/						
13	/						
14	/						
15	/						
16	/						
17	/						
18	/						

注) 分科会、ワーキンググループなどの開催を含みます。

## 都道府県がん診療連携協議会の体制

期間 平成22年4月1日 ~ 平成22年8月31日  
病院名 

独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院
-----------------------

※都道府県がん診療連携協議会の体制図を添付してください。